

- 問1 平城京跡などの遺跡から出土する「木簡」の中には、送り主の氏名や地名のほか、中身の品目（布や海産物など）が詳しく記されたものが多く見られます。このような木簡が「税」に関連して果たしていた役割について、当時の社会背景を踏まえた説明として正しいものはどれですか。
(2015年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 日宋貿易において、日本から輸出する硫黄や刀剣が密貿易品ではないことを示すための許可証として機能していた。 | 2. 租として徴収された稲が、各地方の国庫で適正に保管されているかを検査するための証明書として機能していた。 | 3. 防人が九州沿岸の警備に赴く際、その身分や出身地を証明し、兵役の免除を受けるための身分証として機能していた。 | 4. 地方の特産品を都へ運ぶ「調」などの荷物に付けられ、どここの国や郡から納められたものかを明確にする荷札として機能していた。 |
|---|--|--|---|
- 問2 8世紀の日本では、仏教の教えが広まる一方で、僧侶が守るべき厳格な規律が整っていないという課題がありました。この状況を改善するために、聖武天皇の招きに応じ、5度の渡航失敗や失明という苦難を乗り越えて唐から来日した高僧は誰ですか。
(2025年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 空海 | 2. 行基 | 3. 最澄 | 4. 鑑真 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問3 律令国家では「公地公民」の原則のもと、人々に口分田を与えて税を徴収する班田収授法が行われました。しかし、人口の増加により土地が不足したため、743年に新しく開墾した土地を永久に自分のものにすることを認める法令が出されました。この法令の名称を選択してください。
(2019年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|----------|------------|
| 1. 三世一身の法 | 2. 班田収授の法 | 3. 地租改正法 | 4. 墾田永年私財法 |
|-----------|-----------|----------|------------|
- 問4 律令国家の政治組織において、中央には神祇官や太政官が置かれていましたが、地方の九州には「大宰府」という特別な機関が置かれました。この大宰府が、東アジアの国々に対して担っていた主な役割の説明として、最も適切なものを選びなさい。
(2018年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 各国の戸籍を作成し、土地の分配や裁判を管理する地方行政の拠点としての役割 | 2. 外国使節の接待などの外交や、大陸からの侵攻に備える防衛の拠点としての役割 | 3. 全国の国分寺を統括し、仏教の教えによって国家を鎮める宗教の拠点としての役割 | 4. 農民から租・庸・調などの税を徴収し、中央へ送るための徴税の拠点としての役割 |
|---|---|--|--|
- 問5 古代の税制に関する学習資料において、農民の負担についてまとめた以下の文の空欄にあてはまる内容として、正しいものはどれですか。「農民にとって、特産品や布を納めること自体も大変でしたが、さらにそれらの品物を（ ）ことが大きな負担となっていました。」
(2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|------------------|---------------------|------------|
| 1. 決められた期日までにすべて自分で収穫する | 2. 他人の分も代行して生産する | 3. 役人の目の前で規格通りに作り直す | 4. 自ら都まで運ぶ |
|-------------------------|------------------|---------------------|------------|
- 問6 奈良時代、聖武天皇は国分寺や国分尼寺を全国に建立し、東大寺には巨大な大仏を造営しました。このように、仏教の教えによって国家の平穏と安泰を願った思想を何と呼びますか。
(2015年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------|----------|
| 1. 尊王攘夷 | 2. 鎮護国家の思想 | 3. 浄土信仰 | 4. 本地垂迹説 |
|---------|------------|---------|----------|
- 問7 奈良時代の文化を象徴する『万葉集』の大きな特徴について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。
(2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 聖徳太子の功績をたたえるために、仏教の教えを中心にまとめられている。 | 2. 醍醐天皇の命によって編纂された、日本で最初の勅撰和歌集である。 | 3. 天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった幅広い階層の人々の歌が収められている。 | 4. すべてかな文字で記述されており、女性文学が発展するきっかけとなった。 |
|---------------------------------------|------------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問8 ユーラシア大陸を横断した「シルクロード（絹の道）」が果たした、古代日本に対する歴史的な役割として最も適切なものはどれですか。
(2023年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. ローマ帝国やペルシャなどの西方でつくられた工芸品や文化が、中国を経て日本へ伝わる経路となった | 2. 日本の稲作技術や土器の製作技術を、中央アジアやヨーロッパへ輸出するための主要な貿易路となった | 3. 聖徳太子が制定した冠位十二階などの制度を、西方の国々に広めるための外交ルートとして機能した | 4. 北方の狩猟民族が獲得した毛皮を、九州地方の遺跡を通じて東南アジアへ運ぶための独占的な道となった |
|---|---|--|--|
- 問9 奈良時代の聖武天皇ゆかりの品や、シルクロードを通じて伝来した国際色豊かな宝物が数多く保管されている、東大寺にある校倉造の宝庫を何というか。
(2022年 青森県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|--------|----------|
| 1. 平等院鳳凰堂 | 2. 登呂遺跡 | 3. 正倉院 | 4. 法隆寺金堂 |
|-----------|---------|--------|----------|
- 問10 奈良時代の律令制度のもとでは、租・庸・調や兵役、雑徭といった重い負担が農民に課せられていました。こうした税や労役の負担から逃れるために、本来は男性であるにもかかわらず、戸籍には女性として登録したり、年齢を偽って登録したりする行為を何と呼びますか。
(2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 浮浪 | 2. 逃亡 | 3. 墾田 | 4. 偽籍 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問11 奈良時代、人口の増加にともなって「班田収授法」で農民に分け与えるための公地が不足しました。この状況を解決するために743年に出された、新しく開墾した土地を永久に自分のものにすることを認めた法令は何ですか。
(2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|-----------|-----------|------------|
| 1. 武家諸法度 | 2. 三世一身の法 | 3. 公事方御定書 | 4. 墾田永年私財法 |
|----------|-----------|-----------|------------|
- 問12 奈良時代の743年に出された、新しく開墾した土地について、期限を設けずに永久に自分のものにすることを認めた法令を何といいますか。
(2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|-----------|----------|
| 1. 墾田永年私財法 | 2. 大宝律令 | 3. 三世一身の法 | 4. 班田収授法 |
|------------|---------|-----------|----------|
- 問13 奈良時代の天平文化の特徴について、当時の国際情勢や文化交流の観点から説明したものとして正しいものを選びなさい。
(2022年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|-------------------------------------|--|--|
| 1. 遣唐使がもたらした唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。 | 2. 武士の精神を反映した、素朴で力強い文化が鎌倉を中心に展開された。 | 3. 禅宗の影響を強く受け、水墨画や茶の湯などの質素な美を尊ぶ文化が形成された。 | 4. 遣唐使の廃止によって唐との交流が途絶えたため、日本独自の優雅な国風文化が生まれた。 |
|--|-------------------------------------|--|--|
- 問14 8世紀の日本における文化財の調査において、鑑真的肖像彫刻が安置されている唐招提寺が代表的な事例として挙げられています。平城京を中心に展開され、唐の文化や仏教の影響を強く受けた天平文化が栄えたこの時代の名称として正しいものを選びなさい。
(2022年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 飛鳥時代 | 2. 奈良時代 | 3. 平安時代 | 4. 鎌倉時代 |
|---------|---------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 地方の特産品を都へ運ぶ「調」などの荷物に付けられ、どこの国や郡から納められたものを明確にする荷札として機能していた。	奈良時代の税制である租・庸・調のうち、庸や調は地方の特産品を都まで運ぶ必要がありました。全国から膨大な物資が都に集まるため、管理のために「どこの誰が納めたか」を記した木簡が荷札として取り付けられました。この仕組みにより、中央政府は徴税の状況を正確に把握することができました。選択肢にある「勘合（割符）」などの貿易証明書とは、使われた時代も目的も異なります。
問2	答え 4 鑑真	当時の日本には僧侶が正式な資格を得るための「戒律」を授ける仕組みが不足していました。唐の僧である鑑真は、この戒律を伝えるために日本へ渡り、東大寺に戒壇（戒律を授ける場所）を設けました。これにより、国家公認の僧侶としての質を維持する制度が確立されました。選択肢にある行基は民衆への布教や社会事業、最澄と空海は平安時代初期に新しい仏教を伝えた人物です。
問3	答え 4 墾田永年私財法	当初は三世代にわたる私有を認める「三世一身の法」が出されましたが、期限が来ると土地を返さなければならぬため開墾の意欲が続きませんでした。そこで、開墾をさらに促進するために土地の永代私有を認めるこの法が制定されました。この結果、公地公民の原則が崩れ、有力な貴族や寺社が広大な私有地である「荘園」を形成するきっかけとなりました。
問4	答え 2 外国使節の接待などの外交や、大陸からの侵攻に備える防衛の拠点としての役割	九州は地理的に大陸や朝鮮半島に近いため、大宰府は単なる地方行政機関としての機能だけでなく、唐や新羅からの使節を迎え入れる「外交」の窓口としての役割を果たしました。また、白村江の戦いでの敗北後などは、大陸側からの攻撃を想定した「防衛」の要としての機能も極めて重要視されました。
問5	答え 4 自ら都まで運ぶ	当時の税制では、地方から都へ品物を届ける輸送手段が整備されておらず、農民自身の徒歩による運搬に頼っていました。自分の負担分を背負って都まで歩くという物理的な労働と、その期間の食料負担が、単なる「納税」以上の重圧となって農民にのしかかっていた。これは、後の時代のように役人が回収に来たり、輸送業者が代行したりする仕組みとは大きく異なる点です。
問6	答え 2 鎮護国家の思想	聖武天皇の時代、疫病の流行や政治的な混乱、大地震などの社会不安が続きました。当時の人々は、仏教の力によってこれらの災いから国家を守り、秩序を取り戻そうと考えました。天平文化における仏教建築や仏像の造営は、この思想を背景として国家規模で進められたものです。
問7	答え 3 天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった幅広い階層の人々の歌が収められている。	当時の社会状況を反映し、天皇から庶民にいたるまで多様な人々の感情が詠み込まれている点が最大の特徴です。特に九州の警備にあたった人々の心情を詠んだ「防人の歌」や、東日本の民衆の歌である「東歌（あずまうた）」などは、当時の地方の人々の生活を知る貴重な史料となっています。
問8	答え 1 ローマ帝国やペルシャなどの西方でつくられた工芸品や文化が、中国を経て日本へ伝わる経路となった	シルクロードはユーラシア大陸の東西を結ぶ壮大な交易路であり、西方のローマ帝国やペルシャなどで作られたガラス製品などの高度な工芸品や、それらに付随する文化が東方の中国へと伝わりました。さらに、それらは朝鮮半島や海を越えて日本にもたらされ、奈良の正倉院や福岡県の遺跡から発見されるなど、日本の古代文化形成に大きな影響を与えました。
問9	答え 3 正倉院	聖武天皇の死後、光明皇后がその遺愛品を東大寺に納めたことが始まりです。校倉造という高床式の構造により、湿気などから宝物が守られてきました。法隆寺金堂は世界最古の木造建築群の一部、登呂遺跡は静岡県にある弥生時代の遺跡です。
問10	答え 4 偽籍	律令国家が農民に課した庸・調や兵役、雑徭といった重い負担は、主に成人男性（正丁）が対象となっていました。これに対し、女性の税負担は男性に比べて極めて軽かったため、農民たちは生活を守る手段として、戸籍上で性別や年齢を偽ることで負担を回避しようとしていました。この行為は、律令制による人民支配が困難になっていく背景の一つとなりました。
問11	答え 4 墾田永年私財法	人口が増加したことで、それまでの班田収授法による公地の分配が困難になりました。政府は土地不足を解消するため、開墾を奨励する目的でこの法令を出し、土地の永久私有を認めました。これがきっかけとなり、のちに「荘園」と呼ばれる私有地が拡大することになります。
問12	答え 1 墾田永年私財法	奈良時代、人口の増加によって農民に配る口分田が不足したため、政府は開墾を奨励するためにこの法令を出しました。それまでは「土地は国家のもの」とする公地公民の原則がありましたが、この法令によって土地の永久私有が認められるようになりました。723年に出された、三代に限り私有を認める「三世一身の法」と混同しないよう注意が必要です。
問13	答え 1 遣唐使がもたらした唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。	天平文化は、遣唐使によってもたらされた唐の高度な文化や仏教の影響を強く受けています。当時の唐は西アジアなどとも交流があったため、正倉院の宝物にはペルシャ風の意匠が見られるなど、国際色豊かな（国際性豊かな）文化であったことが特徴です。一方で、国風文化は平安時代中期以降、水墨画などの文化は室町時代以降の特色であるため混同しないよう注意が必要です。
問14	答え 2 奈良時代	8世紀に平城京を中心として展開された時代は奈良時代です。この時代には遣唐使を通じて唐の進んだ制度や文化が取り入れられました。特に聖武天皇の時期には、仏教の力を利用して国を治めようとする鎮護国家の思想に基づき、東大寺の大仏造立や国分寺の建立が行われるなど、仏教色の強い天平文化が花開きました。鑑真が建立した唐招提寺はその代表的な建築物の一つです。

- いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 4 シルクロード（絹の道）	奈良時代の天平文化は、遣唐使によってもたらされた唐の文化の影響を強く受けているが、当時の唐は西アジアやインドなどとの交流が盛んであった。この東西交流を支えた内陸の交易路は、中国の特産品である絹が多く運ばれたことから「シルクロード（絹の道）」と呼ばれる。正倉院には、この道を経て伝わったガラス容器や楽器などが収蔵されており、国際色豊かな特徴を示している。「東海道」は江戸時代に整備された日本の五街道の一つであり、時代や場所が異なる。
問2	答え 2 租は収穫した稲を地元の国府に納めるものだったが、調は特産品を遠く離れた都まで運ぶ必要があった。	「租」は口分田の面積に応じて課せられる税で、収穫した稲を地方の国府（現在の県庁のような組織）にある正倉に納め、主に地方の財源として使われました。これに対し「調」や「庸」は、中央政府（都）の財源とするために、納税者自身が都まで運搬する「運脚（うんきやく）」の義務が伴いました。この輸送の負担の差が、当時の農民の生活に大きな影響を与えました。
問3	答え 1 万葉集	天平文化を代表する作品であり、漢字の音や訓を借りて日本語を表記する「万葉仮名」が用いられている。後の平安時代に編纂された勅撰和歌集と比較して、素朴で力強い感情を詠んだ歌が多いことが特徴である。
問4	答え 1 度重なる災害や疫病による社会不安を、仏教の力によって鎮め、国の平和を願うため	奈良時代中期は、藤原広嗣の乱などの政情不安に加え、疫病（天然痘）の大流行により多くの犠牲者が出ていました。聖武天皇は、個人の救済ではなく、国家全体の安泰を仏教の力に求める「鎮護国家」の考えに基づき、東大寺の大仏建立や国分寺の設置を国家事業として進めました。これは貴族の私的な信仰ではなく、国全体の安定を目的としたものです。
問5	答え 4 中央の都から派遣された国司が、地方の行政・司法の責任者として諸国を治めた	聖武天皇が仏教による平和を願った奈良時代、地方には都から「国司」が派遣されていました。彼らは任期制の官吏であり、中央政府の意向を地方に伝える役割を果たしました。一方、その下の単位である「郡」を治めた「郡司」は、地元の豪族が任命されるのが一般的でした。この中央から人を派遣する仕組みが律令国家の大きな特徴です。
問6	答え 4 モデル：長安、制度：条坊制	奈良に築かれた平城京は、当時の唐の都であった長安を模範として設計されました。都市の内部は「条坊制」と呼ばれる制度に基づき、南北・東西に走る道路によって碁盤の目状に整然と区画されていたのが特徴です。班田収授法は土地と人民を国家が管理する制度であり、都市の区画制度を指すものではありません。
問7	答え 2 全国の国ごとに国分寺・国分尼寺を建立し、都には総本山として東大寺を建てた。	聖武天皇は、仏教の教えによって国を護る「鎮護国家（ちんごこっか）」の思想に基づき、社会の混乱を収めようと考えました。その一環として、741年に「国分寺建立の詔（みことのり）」を出し、全国の令制国ごとに国分寺と国分尼寺を建ててことを命じました。また、都の平城京にはこれらの総本山となる東大寺を建立し、巨大な大仏を造立しました。
問8	答え 3 刑罰に関する規定と、政治を行うための組織や運営に関する規定	古代の法体系である律令において、「律」は犯罪に対して科される刑罰についてのルールを指し、「令」は役所の仕組み、地方行政、税制など、政治を円滑に進めるためのルールを指します。これらが組み合わさることで、天皇を中心とした中央集権的な国家の仕組みが整えられました。
問9	答え 4 収穫した稲の約3パーセントを、地方の役所に納める。	「租」は他の税と異なり、人に対してではなく「土地（口分田）」に対して課せられる性格を持っていました。また、庸や調が都まで運んで納めなければならない負担の重い税であったのに対し、租は収穫した稲をその地域の役所に納める形式がとられていました。選択肢にある労役の代納は「庸」、特産品の納入は「調」、地方での労働は「雑徭」の説明です。
問10	答え 4 鎮護国家の思想	聖武天皇が位にあった奈良時代前半、大規模な疫病や政情不安が続いていました。天皇は仏教を深く信仰し、その力で国全体を災害や病から守り、安定させようとししました。この「仏教で国家を護持する」という考え方が鎮護国家の思想であり、東大寺を総国分寺として全国の寺院のネットワークを整えました。
問11	答え 2 荘園	墾田永年私財法が制定されると、豊富な財力や労働力を持つ貴族や大きな寺院が競って大規模な開墾を行い、広大な私有地を形成しました。これが「荘園」の始まりであり、後の時代の社会構造にも大きな影響を与えました。
問12	答え 3 国司は中央政府から派遣された官吏で、一定の任期があった。一方、郡司はかつての有力な地方豪族が任命され、その地位は世襲されることが多かった。	律令制における地方統治は、中央から派遣される国司と、地元根付いた勢力である郡司の連携によって行われました。国司は中央の意向を反映させるために任期制（公選）とされましたが、郡司は在地支配の実情に合わせて旧来の豪族を任命し、その地位は原則として世襲されました。この仕組みを通じて、中央政府は全国に徴税や戸籍の作成といった制度を浸透させようとししました。
問13	答え 3 班田収授法	律令国家は「公地公民」の原則のもと、土地と民衆を直接支配しようとししました。戸籍を作成して人々の所在を把握し、6歳以上の男女に一定の面積の田（口分田）を割り当て、収穫の約3%を「租（そ）」として納めさせるこの仕組みは、国家財政の基盤となりました。この制度は6年ごとの戸籍作成に合わせて実施されました。

- 問1 奈良時代の国際交流の様子を伝える資料として、東大寺には当時の宝物を納めた高床式の倉庫が残されています。この建物の名称と、そこに保管されている品々が示す当時の状況について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 法隆寺(ほうりゅうじ)には、日本独自の風土や好みに合わせた国風文化の作品が多く納められ、貴族の生活の様子を伝えている。 | 2. 鳳凰堂(ほうおうどう)には、浄土信仰に基づく仏像が安置され、平安時代の武士の台頭による社会不安を反映している。 | 3. 唐招提寺(とうしょうだいじ)には、鑑真が持ち込んだ経典が納められ、遣隋使によってもたらされた仏教文化の広まりを示している。 | 4. 正倉院(しょうそういん)には、唐や西アジアの文化の影響を受けた工芸品が納められ、天平文化の国際性を今に伝えている。 |
|--|--|--|--|
- 問2 8世紀の日本の特色をまとめた記述において、当時の文化は「大陸の影響を受けた国際色豊かな文化」と表現されます。この文化を象徴する正倉院に収蔵されている宝物の特徴として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| 1. 禅宗の影響を受け、武士の精神性を反映した簡素で力強い品々 | 2. ペルシャ風の文様やガラス製品など、西アジアや唐の影響を受けた品々 | 3. 平安京への遷都以降に発達した、日本独自の風土や感覚に基づいた品々 | 4. ヨーロッパからの宣教師によってもたらされた、活版印刷機やキリスト教関連の品々 |
|---------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
- 問3 聖武天皇が、平城京の造営費用などに充てられた「和同開珎」という貨幣が流通していた時代に、全国各地に国分寺・国分尼寺を建立することを命じた目的として、最も適切なものはどれか。 (2023年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 仏教の力によって国家の安定を図る「鎮護国家」の思想に基づき、社会の不安を鎮めるため | 2. 遣唐使の派遣を停止し、大陸の文化に依存しない日本独自の文化を地方へ広めるため | 3. 冠位十二階の制度を補完し、寺院の僧侶を官吏として全国の行政組織に組み込むため | 4. 平将門の乱などの地方での反乱を鎮圧するために、軍事拠点としての機能を持たせるため |
|--|---|---|---|
- 問4 律令制度の下で実施された班田収授法では、6歳以上の男女に口分田が与えられました。この口分田の面積に応じて課され、収穫高の約3%にあたる稲を地方の諸国にある倉庫に納めた税を何と呼びますか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|------|------|------|
| 1. 雑徭 | 2. 租 | 3. 調 | 4. 庸 |
|-------|------|------|------|
- 問5 奈良時代、聖武天皇は相次ぐ反乱や疫病といった社会不安を鎮め、国家を安定させるために仏教の力を利用しようと考えました。このように、仏教の教えによって国を守ろうとする思想を何と呼びますか。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|---------|------------|------------|
| 1. 尊王攘夷の思想 | 2. 末法思想 | 3. 鎮護国家の思想 | 4. 神仏習合の思想 |
|------------|---------|------------|------------|
- 問6 律令国家の税制において、戸籍に登録された人々に対する土地の配布と税の負担に関する説明として、当時の制度の仕組みを正しく述べているものはどれですか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 6歳以上の男女に土地が与えられたが、実際に税として稲を納める義務があったのは戸主のみであった | 2. 土地の不足を防ぐため、口分田は成人した男性のみに与えられ、その代表として戸主が税を負担した | 3. 戸籍に記載された家族のうち、労働力となる男性のみに土地が与えられ、布や特産物を納める義務が生じた | 4. 戸籍に登録された者のうち、6歳以上の男女であれば身分に応じた広さの土地が与えられ、収穫に応じた税を納めた |
|---|--|---|---|
- 問7 奈良時代には、国家の成り立ちや天皇による統治の由来を記した歴史書と並行して、地方の状況を詳しくまとめた『風土記』が編纂されました。この『風土記』の内容について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 天皇の系譜や神話を中心に、国家の正統性を主張するためにまとめられた。 | 2. 防人や貴族など、様々な立場の人々が詠んだ歌を集めた日本最古の和歌集である。 | 3. 仏教の力で国を守るため、聖武天皇の命により全国の国ごとに建立された。 | 4. 全国の土地の肥沃さや特産物、地名の由来や古い伝説などが記録された。 |
|---------------------------------------|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
- 問8 奈良時代の中頃、聖武天皇は、社会の混乱を鎮めるために仏教の力によって国家の安泰をはかろうとしました。このような考え方を何といいますか。 (2023年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|------------|---------|---------|
| 1. 神仏習合 | 2. 鎮護国家の思想 | 3. 浄土信仰 | 4. 末法思想 |
|---------|------------|---------|---------|
- 問9 奈良時代の中期、疫病の流行や相次ぐ政変による社会の混乱を鎮めるため、仏教の力で国家の安定を図ろうとする「鎮護国家」の思想が広まりました。この方針に基づき、全国の国ごとに国分寺・国分尼寺を建立するよう命じた天皇は誰ですか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 聖徳太子 | 2. 桓武天皇 | 3. 聖武天皇 | 4. 天武天皇 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問10 重要文化財(建造物等)の指定件数に関する統計において、東京都や京都府に次いで全国3位の約1500件を記録している県があります。世界最古の木造建築物である法隆寺などの古い寺院が数多く存在し、かつて日本の政治の中心地であった歴史を持つこの都道府県はどこですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 大阪府 | 2. 滋賀県 | 3. 奈良県 | 4. 和歌山県 |
|--------|--------|--------|---------|
- 問11 奈良時代において、疫病の流行や政治的な混乱から国家の安定をはかるため、仏教の力で国を守ろうとする思想を何と呼びますか。この思想に基づき、各地に国分寺や国分尼寺が建立されました。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 律令政治 | 2. 鎮護国家 | 3. 本地垂迹 | 4. 王土王民 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問12 8世紀、遣唐使が頻繁に派遣されていた時期に、聖武天皇が仏教の力で国家の安定を図る「鎮護国家」の思想に基づいて建立した、都にある寺院はどこですか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-----------|---------|
| 1. 法隆寺 | 2. 東大寺 | 3. 平等院鳳凰堂 | 4. 金剛峰寺 |
|--------|--------|-----------|---------|
- 問13 律令国家が確立された後、政府は支配地域をさらに広げるために東北地方への進出を強めました。9世紀初め、桓武天皇によって征夷大將軍に任命され、蝦夷の軍事指導者であったアテルイを降伏させるなど、北方の支配拡大に大きく貢献した人物は誰ですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|----------|---------|
| 1. 坂上田村麻呂 | 2. 足利尊氏 | 3. 中大兄皇子 | 4. 北条時宗 |
|-----------|---------|----------|---------|
- 問14 律令国家において、都と地方を結ぶ道路が大規模に整備された主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 日明貿易によって輸入された生糸や陶磁器を、地方の有力者に売りさばくため | 2. 遣唐使が中国から持ち帰った貴重な品物を、速やかに全国の国分寺へ配布するため | 3. 各地の特産物や布などの税を、成人男性が自ら都へ運ぶための経路を確保するため | 4. 琉球王国の使節が、朝廷に特産物を献上するために通る専用の道を設けるため |
|--|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 正倉院（しょうそういん）には、唐や西アジアの文化の影響を受けた工芸品が納められ、天平文化の国際性を今に伝えている。	東大寺の正倉院には聖武天皇の遺愛品をはじめ、遣唐使が持ち帰った数多くの宝物が保管されています。これらの品々にはペルシャ（イラン）風の模様が施されたガラス器や、唐で作られた楽器などが含まれており、当時の日本が大陸との交流を通じて遠く西方の文化とも繋がっていた「シルクロードの終着点」であったことを象徴しています。
問2	答え 2 ペルシャ風の文様やガラス製品など、西アジアや唐の影響を受けた品々	聖武天皇の時代の文化は天平文化と呼ばれ、唐の文化や仏教が強く影響していました。正倉院の宝物には、遠く西アジアからシルクロードを渡って伝わった工芸品が多数含まれており、当時の日本が国際的なネットワークの終着点であったことを示しています。桓武天皇による平安遷都後の国風文化とは区別が必要です。
問3	答え 1 仏教の力によって国家の安定を図る「鎮護国家」の思想に基づき、社会の不安を鎮めるため	奈良時代の聖武天皇は、相次ぐ疫病や社会不安、政治的な混乱を背景に、仏教の力で国を護ろうとする「鎮護国家」の思想を推進しました。その一環として、都の東大寺を中心とし、全国の各令制国に国分寺・国分尼寺を建立させました。選択肢にある「遣唐使の停止」や「平将門の乱」は平安時代の出来事であり、「冠位十二階」は飛鳥時代の聖徳太子による制度です。
問4	答え 2 租	律令制における「租」は、土地（口分田）を対象に課された税です。班田収授法によって配分された口分田の面積に基づき、収穫した稲を納めました。納められた稲は、主に地方（国府など）の財源や飢饉に備えた備蓄として利用された点が、都へ運ばれた「調」や「庸」との大きな違いです。
問5	答え 3 鎮護国家の思想	聖武天皇の時代は、天然痘の流行や藤原広嗣の乱など、社会的に不安定な状況が続いていました。これらを解決するために、仏教の教えを政治に取り入れ、国家の安泰を願う「鎮護国家」の思想が推進されました。その具体的な施策として、全国に国分寺・国分尼寺が建立されることとなりました。
問6	答え 4 戸籍に登録された者のうち、6歳以上の男女であれば身分に応じた広さの土地が与えられ、収穫に応じた税を納めた	班田収授法の特徴は、戸主などの代表者だけでなく、戸籍に登録された「6歳以上の男女」一人ひとりを対象に土地（口分田）を割り当てた点にあります。政府は戸籍を通じて民衆を個人単位で把握し、性別や身分に応じた面積の土地を与える代わりに、収穫物から「租」を徴収することで、国家の安定した財政収入を確保しようとしたのです。
問7	答え 4 全国の土地の肥沃さや特産物、地名の由来や古い伝説などが記録された。	『風土記』は、中央政府が地方を管理するために、各国の経済的な資源（産物や土地の様子）や文化的な背景（地名の由来や伝承）を報告させたものです。一方、国家の成り立ちを記したものは『古事記』や『日本書紀』、和歌を集めたものは『万葉集』、仏教によって国を守ろうとしたのは「国分寺・国分尼寺の建立」であり、それぞれ目的が異なります。
問8	答え 2 鎮護国家の思想	聖武天皇の時代には、疫病の流行や政治的な混乱が続いていました。天皇はこれらを仏教の力で解決しようと考え、この思想に基づいて全国に寺院を建立するなどの政策を推し進めました。仏教を国家の統治に利用しようとした点が特徴です。
問9	答え 3 聖武天皇	奈良時代には天然痘の流行や藤原広嗣の乱などが起こり、社会が不安定な状況にありました。当時の天皇は、仏教の加護によってこれらの災いから国を守るという「鎮護国家」の思想を重視し、地方行政単位である「国」ごとに国分寺・国分尼寺を建てることを命じました。聖徳太子は飛鳥時代の人物であり、天武天皇は律令国家の基礎を固めた人物、桓武天皇は平安遷都を行った人物です。
問10	答え 3 奈良県	奈良県は、7世紀から8世紀にかけて平城京が置かれるなど、日本の政治や文化の拠点として栄えた歴史があります。そのため、当時の高い建築技術を伝える法隆寺などの歴史的建造物が数多く現存しており、重要文化財の指定件数が非常に多いことが特徴です。
問11	答え 2 鎮護国家	奈良時代の聖武天皇は、天然痘の流行や貴族の対立による社会の不安を解消するため、仏教によって国家を安定させる「鎮護国家」の思想を推進しました。この方針に基づき、都には東大寺、諸国には国分寺・国分尼寺が建てられることとなりました。
問12	答え 2 東大寺	奈良時代、聖武天皇は平城京に国を象徴する寺院として東大寺を建て、大仏を安置しました。法隆寺は飛鳥時代に聖徳太子によって建てられた寺院であり、平等院鳳凰堂は平安時代の藤原頼通によるもの、金剛峰寺は平安時代初期に空海が開いた寺院です。
問13	答え 1 坂上田村麻呂	律令国家の形成期から拡大期にかけて、東北地方に住む人々（蝦夷）への支配を広げることは国家の大きな課題でした。坂上田村麻呂は征夷大將軍として組織的な軍事行動を行い、胆沢城（現在の岩手県）を築くなどして政府の支配圏を北へと押し広げました。これは、律令国家が成熟し、領域国家として拡大していった過程を示す重要な出来事です。
問14	答え 3 各地の特産物や布などの税を、成人男性が自ら都へ運ぶための経路を確保するため	律令国家では、公地公民の原則に基づき、人民に租・庸・調などの税を課しました。このうち、布を納める「庸」や、各地の特産物を納める「調」は、納税者である成人男性が自ら都まで運ぶ義務（運脚）がありました。国家が道路を整備したのは、これら地方からの物資を確実に中央（都）へ集約させ、国家の財政を維持するためという背景があります。

- 問1 奈良時代、律令に基づいて人々に課された租税のうち、絹、布、糸、あるいは各地の海産物などの特産物を都まで運んで納める義務を何と呼びますか。 (2024年 岡山県公立入試 類似)
1. 調 2. 雑徭 3. 庸 4. 租
- 問2 律令制度の基本原則の一つである土地制度について述べた次の文の空欄に適する語句の組み合わせを選びなさい。「律令国家は、戸籍に登録された6歳以上の男女に対して (①) を分け与え、死後に国へ返還させる班田収授の法を実施した。しかし、人口の増加に伴い支給する土地が不足したため、政府は743年に新しく開墾した土地の永久私有を認める (②) を制定し、土地の不足を解消しようとした。」 (2019年 神奈川県公立入試 類似)
1. ① 宅地 ② 公地公民の法 2. ① 口分田 ② 墾田永年私財法 3. ① 公田 ② 三世一身の法 4. ① 墾田 ② 班田収授の法
- 問3 7世紀後半に起きた壬申の乱を経て、天皇を中心とする中央集権体制の整備が進められました。この過程で、遣唐使が持ち帰った唐の進んだ制度を参考に、701年に刑法や行政法としてまとめられ、律令国家の法的な基盤となったものは何ですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. 武家諸法度 2. 十七条の憲法 3. 御成敗式目 4. 大宝律令
- 問4 東大寺正倉院に収められている宝物の特徴と、その背景について説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
1. 遣唐使が持ち帰った、中国の隋の時代の仏像や経典を中心に、日本独自の国風文化の影響を受けた品々が収められている。 2. 室町時代の足利義政が収集した、禅宗の影響を強く受けた水墨画や茶器など、簡素で気品のある品々が収められている。 3. 遣唐使の派遣などを通じて、西アジアや中央アジアの文化がシルクロード経由で伝わったことを示す国際的な品々が多い。 4. 平氏の全盛期に、瀬戸内海の海上交通の安全を祈願して各地から集められた、華やかな装飾品や武器が中心である。
- 問5 律令時代の戸籍に関する統計資料において、ある地域の登録者の大半が女性として記録され、男性の割合が不自然に低くなっている事例が見られます。このように性別や年齢を偽って登録が行われた最大の目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
1. 都から地方へ移住する際の許可を得やすくするため 2. 兵役や労役、庸・調といった重い税の負担を免れるため 3. 貴族の荘園で働くための労働力を確保するため 4. 班田収授法によってより多くの口分田を受け取るため
- 問6 律令制度下の十世紀ごろの戸籍には、実際よりも女子の人数が極端に多く記録されるという不自然な統計が見られます。このように男子を女子と偽って登録する行為が横行した背景として、正しい説明はどれですか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 男子には調・庸や雑徭といった重い負担が課されていたが、女子はそれらの負担が免除されていたため。 2. 土地の面積に応じて課される「租」の負担が男子にのみ集中しており、女子は納税の義務がなかったため。 3. 女子の方が男子よりも口分田を多く割り当てられる決まりがあり、より広い耕作地を得るため。 4. 当時の医療技術では男子の死亡率が非常に高く、家系を存続させるために女子として登録する必要があったため。
- 問7 710年に藤原京から平城京へと遷都が行われた背景や目的について、当時の国家体制の仕組みと関連させて説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2021年 静岡県公立入試 類似)
1. 僧侶の政治介入を防ぐために、東大寺などの有力な寺院を都の郊外に強制的に移転させ、政治と宗教を分断するため。 2. 東北地方の蝦夷に対する征討を進めるにあたり、軍事拠点としてより北方に位置する奈良の地が地理的に有利であったため。 3. 律令に基づいた天皇中心の中長集権的な政治体制を、国内外に誇示するために、より大規模で威容のある都が必要とされたため。 4. 遣唐使の派遣を停止し、日本の独自の風土に合った国風文化を醸成するために、大陸の影響を受けない新しい都を求めたため。
- 問8 743年に墾田永年私財法が制定された背景と、その目的を説明した内容として最も適切なものはどれか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
1. 武士の台頭を抑えるために、貴族の経済基盤を強化して朝廷の権威を回復させる目的で制定された。 2. 土地の売買を自由化することで、農民が借金を返済しやすくし、浮浪や逃亡を防ぐ目的で制定された。 3. 中国の唐にならって中央集権体制を確立するため、すべての土地を一度国家に回収し、改めて再分配する目的で制定された。 4. 人口の増加により食料となる米が不足していたため、土地を永久に自分のものにできるという保証を与えて、人々の開墾意欲を高める目的で制定された。
- 問9 7世紀から9世紀にかけて日本が唐へ派遣した使節について、その主な目的を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. 朝鮮半島での利権をめぐる争いを有利に進めるため、唐と軍事同盟を結んで新羅を攻撃すること。 2. 唐の強力な軍勢力を背景にして、蝦夷と呼ばれた東北地方の人々を武力で平定し、領土を拡大すること。 3. 律令国家としての体制を整えるため、当時の先進国であった唐の政治制度や優れた文化を導入すること。 4. 国内の飢饉や疫病による混乱を鎮めるため、唐から大量の食料援助や医師の派遣を受けること。
- 問10 奈良時代の日本は、大陸の進んだ文化や仏教の経典を取り入れるために遣唐使を派遣しました。遣唐使が唐の都である長安に向かうための経路において、初期は九州から朝鮮半島の西海岸を北上して進む「北路」が一般的でしたが、のちに東シナ海を直接横断して揚州方面へと向かうようになった経路の名称を答えなさい。 (2016年 山口県公立入試 類似)
1. 南路 2. シルクロード 3. 東山道 4. 南海路
- 問11 藤原鎌足から不比等へと続く藤原氏の系図において、不比等の娘である光明子が聖武天皇の皇后として記されている時期の文化について、その特色として最も適切な説明を選びなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 遣唐使などがもたらした大陸の文化や仏教の影響を強く受けた、国際色豊かな文化 2. 奥州藤原氏が平泉に本拠を置き、中尊寺金堂を建立した時期の東北地方独自の文化 3. 小野妹子が遣唐使として派遣された時期に、飛鳥地方を中心に栄えた日本最古の仏教文化 4. 藤原頼通が平等院鳳凰堂を建立した時期に、日本の風土や生活に合わせた優雅な国風文化
- 問12 藤原京や平城京などの都の跡地からは、当時の社会制度や人々の生活を知る手がかりとなる「木簡」が多数出土しています。この木簡が、歴史研究において果たしている役割についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 京都府公立入試 類似)
1. 地方から都へ納められた特産品などの荷札として、産地や品名が記されており、租・庸・調などの税制の実態を裏付ける史料となっている。 2. 武士が戦功を報告するための報告書として利用されており、封建制度における土地支配の仕組みを具体的に示す史料となっている。 3. 庶民が寺子屋で読み書きを練習するための教科書として利用されており、当時の識字率の高さを示す証拠となっている。 4. 大陸との外交交渉に使われた公式文書として、唐の皇帝とのやり取りが記されており、遣唐使の派遣ルートを解明する手がかりとなっている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 調	律令体制下における主要な税の一つで、地方の特産物を都に納める制度です。平城京の遺跡から発見された木簡（荷札）には、塩などがこの税として運ばれた記録が残っています。土地に対して課される「租」とは異なり、成人男性（正丁など）の個人に対して課されました。
問2	答え 2 ① 口分田 ② 墾田永年私財法	律令制度の下では、公地公民の原則に基づき、人々に一定の農地を分け与えて税を徴収する仕組みが整えられました。このとき支給された農地が口分田です。その後、人口増加による土地不足が深刻化したため、政府は開墾を奨励するために三世一身の法を経て、743年に墾田永年私財法を出し、開墾した土地を永久に自分のものにすることを認めました。
問3	答え 4 大宝律令	天武天皇が壬申の乱に勝利したことで天皇の権威が高まり、その後の文武天皇の時代に唐の律（刑法）と令（行政法）を手本として制定されました。これにより、日本は法に基づく組織的な国家運営を行う「律令国家」としての形を整えました。遣隋使ではなく遣唐使による交流が、この法典の完成に大きな影響を与えています。
問4	答え 3 遣唐使の派遣などを通じて、西アジアや中央アジアの文化がシルクロード経由で伝わったことを示す国際的な品々が多い。	奈良時代は遣唐使が頻繁に派遣され、唐の文化とともに、さらに西方のペルシアやインドの様式を取り入れた文物が日本に流入しました。正倉院に伝わる「螺鈿紫檀五絃琵琶（らでんしたんのごげんびわ）」や「白瑠璃碗（はくるりのわん）」などは、当時の日本がユーラシア大陸の東の終着点として、国際色豊かな天平文化を形成していたことを象徴しています。
問5	答え 2 兵役や労役、庸・調といった重い税の負担を免れるため	当時の税制度では、男性には都での労役である庸や、地方特産物を納める調、さらには防人などの兵役や地方での土木作業（雑徭）といった厳しい義務が課せられていました。一方で、女性にはこれらの負担がほとんどなかったため、戸籍を操作して男性を女性と偽る「偽籍」が横行しました。統計上の男女比が極端に偏っている事実は、当時の農民がいかに過酷な負担から逃れようとしていたかを物語っています。
問6	答え 1 男子には調・庸や雑徭といった重い負担が課されていたが、女子はそれらの負担が免除されていたため。	律令制において、収穫した稲を納める「租」は男女ともに課されていましたが、特産物を納める「調」や、都での労役の代わりとなる「庸」、地方での労働である「雑徭」といった重い負担は、主に成人男子を対象としていました。そのため、こうした厳しい労役や現物納の負担から逃れるために、男子を女子と偽って戸籍に登録する「偽籍（ぎせき）」が急増しました。当時の統計で女子の割合が異常に高いのは、生存率の違いではなく、この税逃れが原因です。
問7	答え 3 律令に基づいた天皇中心の中長集権的な政治体制を、国内外に誇示するために、より大規模で威容のある都が必要とされたため。	律令国家の確立期において、都は単なる住居の集合体ではなく、天皇の権威を示す象徴としての役割を担っていました。そのため、当時の先進国であった唐の都（長安）を模範とし、整然とした区画を持つ平城京を建設することで、対外的にも日本の国家体制が整ったことをアピールする目的がありました。
問8	答え 4 人口の増加により食料となる米が不足していたため、土地を永久に自分のものにできるという保証を与えて、人々の開墾意欲を高める目的で制定された。	当時の日本では、人口増加に対して口分田が足りなくなっており、食料不足が深刻な課題でした。政府は当初、723年の三世一身の法で期間限定の私有を認めましたが、返還期限が近づくとも農民が土地を荒廃させてしまう問題が発生しました。そのため、期限のない「永年」の私有を認めることで、長期的な視点での開墾と食料生産の拡大を狙ったのがこの法令の背景です。
問9	答え 3 律令国家としての体制を整えるため、当時の先進国であった唐の政治制度や優れた文化を導入すること。	遣唐使の最大の目的は、当時の世界で最も進んでいた唐の政治の仕組み（律令制度）や高度な仏教文化、学問などを直接学び、それを日本に取り入れることで、天皇中心の中央集権的な国家体制を確立することにありました。この派遣を通じて、日本は法制度や都市計画、文字や宗教など多岐にわたる分野で大きな影響を受けました。
問10	答え 1 南路	朝鮮半島の沿岸を進む北路に対し、東シナ海を横断して揚州方面へ向かう経路は南路と呼ばれます。新羅との関係悪化や、唐の文化をより迅速に取り入れる必要性から、航海技術が未熟で遭難の危険が高いにもかかわらず、奈良時代後半にはこの南路が主に利用されるようになりました。これにより、唐の最新の仏教文化や制度が日本へもたらされました。
問11	答え 1 遣唐使などがもたらした大陸の文化や仏教の影響を強く受けた、国際色豊かな文化	聖武天皇の皇后である光明子（光明皇后）が活躍した奈良時代中期の文化は天平文化と呼ばれます。この時期は、遣唐使によって唐の進んだ制度や文化だけでなく、シルクロードを経由して西アジアやインドの文化も日本に伝わりました。また、聖武天皇が仏教の力で国を治めようとした「鎮護国家」の思想に基づき、東大寺の大仏などが造られたことも大きな特徴です。
問12	答え 1 地方から都へ納められた特産品などの荷札として、産地や品名が記されており、租・庸・調などの税制の実態を裏付ける史料となっている。	木簡は、紙が貴重だった古代において、日常的なメモや役所間の連絡、さらには物流の荷札として広く利用されました。特に都の跡地から見つかる木簡には、地方から送られた貢納物に付けられたタグが多く含まれており、どこの国からどのような特産品が届いたかが詳細に記されています。これにより、律令国家が租・庸・調などの税を全国から徴収していた仕組みを具体的に証明する貴重な一次史料となっています。

- 問1 奈良時代の仏教政策において、唐から鑑真が招かれた主な目的と、その後の影響について述べた文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|-------------------------------------|---|---|
| 1. 真言宗の教えを広めることで、貴族だけでなく広く地方の武士にも信仰を浸透させるため | 2. 比叡山に延暦寺を建立し、天台宗の教えによって国家の安泰を図るため | 3. 正しい戒律を伝えて僧侶の資格を厳格化し、律宗を広めて仏教界の秩序を整えるため | 4. 困窮する人々のために橋の建設や社会事業を行い、民衆への布教を直接促すため |
|---|-------------------------------------|---|---|
- 問2 奈良時代の国際交流の様子を示す事例として、東大寺の正倉院に納められている宝物の特徴を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 法隆寺の釈迦三尊像に見られるような、ギリシャの彫刻の影響を受けた北魏様式の仏像が数多く保管されている。 | 2. 西アジアやインドの文化の影響を受けたガラス製の容器や漆器の水さしなどが残されており、シルクロードを通じた文化の伝来がうかがえる。 | 3. 浄土信仰の広まりを背景に、阿彌陀如来を本尊とする華やかな装飾が施された工芸品が中心となっている。 | 4. 唐との国交が途絶えたことで、日本の風土や生活に合わせた日本独自の感性による意匠が凝らされている。 |
|--|---|---|---|
- 問3 奈良時代には、唐の都である長安を通じて、西アジアや中央アジアの文化が日本に伝わりました。聖武天皇の遺品や、持ち手と蓋が付いた美しい装飾の「水差し」のような形状をした西アジア伝来の品々が納められている、東大寺にある建物の名称として正しいものを選びなさい。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-----------|-----------|----------|
| 1. 正倉院 | 2. 唐招提寺金堂 | 3. 平等院鳳凰堂 | 4. 法隆寺金堂 |
|--------|-----------|-----------|----------|
- 問4 歴史書である『続日本紀』には、農民が苦勞して開墾した土地を、これからは自由に私財として所有することを認め、永久に国が取り上げないとする趣旨の内容が記されています。この法律が制定されるきっかけとなった当時の社会背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 租・庸・調の重い負担に苦しむ農民に対して、口分田を均等に配分し直す必要があったから。 | 2. 仏教の力によって国を護るため、寺院にのみ土地の永年私有を特別に許可したから。 | 3. 公地公民の原則を強化し、すべての土地を天皇が直接管理する仕組みを完成させるため。 | 4. 三世一身の法では、期限が来ると土地を返さなければならず、農民の開墾意欲が低下していたから。 |
|---|---|---|--|
- 問5 聖武天皇が国分寺・国分尼寺の建立を進めていた時期の社会状況について、当時の土地制度や民衆の負担に触れた説明として最も適切なものを選びなさい。 (2018年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 戸籍に基づいて口分田が割り当てられていたが、成人男性には重い税や労役の負担がかかっていた | 2. 十七条の憲法による道德教育が徹底された結果、役人の不正がなくなり農民の生活は極めて安定していた | 3. 武家政権の成立により、荘園の管理をめぐって各地で武士と貴族の対立が激化していた | 4. 禅宗の考え方が広く浸透したことで、質素倹約が奨励され、農民の生活負担は軽減されていた |
|---|--|--|---|
- 問6 奈良時代、天皇を中心とした中央集権体制を確立するため、全国は「国・郡・里」という行政単位に区分されました。このうち、都から派遣され、地方支配の責任者として行政を担った役職は何ですか。 (2022年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 守護 | 2. 郡司 | 3. 地頭 | 4. 国司 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問7 班田収授法において、6歳以上の人民に割り当てられた土地の名称として正しいものはどれですか。 (2026年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|-------|-------|
| 1. 公田 | 2. 口分田 | 3. 荘園 | 4. 名田 |
|-------|--------|-------|-------|
- 問8 奈良時代に編纂された書物の説明として、内容とその目的の組み合わせが最も適切なものはどれですか。 (2021年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 古事記は、神話や国の成り立ちを記すことで、天皇による統治の由来を明らかにしようとした。 | 2. 万葉集は、仏教の教えを広めるために、聖武天皇の時代に国ごとに作成が命じられた。 | 3. 風土記は、全国の優れた和歌を収集することで、貴族の教養を高めることを目的とした。 | 4. 日本書紀は、各地方の産物や土地の様子を詳しく調査し、税の徴収を効率化するために作られた。 |
|--|--|---|---|
- 問9 7世紀から8世紀の国内の動きを整理した年表において、大化の改新以後の政治体制の確立について説明する場合、その根幹となった「法体系」の性質として最も適切なものはどれか、次の中から選びなさい。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---------------------------------------|
| 1. 仏教の教えを国の最高法規とし、寺院が土地や人民を管理するために作られたもの | 2. 唐の制度を参考に、刑罰のきまりである「律」と行政などのきまりである「令」を組み合わせたもの | 3. 欧米諸国の憲法を参考に、国民の権利を守り議会を開くことを目的として制定されたもの | 4. 武士が社会を治めるための慣習をまとめ、裁判の基準として制定されたもの |
|--|--|---|---------------------------------------|
- 問10 古代の律令制度における税のうち、絹や糸、布、あるいは各地の特産物を都まで運び、直接納めることが義務付けられていたものを何というか。 (2016年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|------|------|------|
| 1. 雑徭 | 2. 庸 | 3. 調 | 4. 租 |
|-------|------|------|------|
- 問11 奈良時代、唐から5度の渡航失敗という苦難を乗り越えて来日し、日本の僧侶に正しいルールである戒律を伝えた人物は誰か。 (2015年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|-------|---------|---------|
| 1. 菅原道真 | 2. 鑑真 | 3. 小野妹子 | 4. 聖徳太子 |
|---------|-------|---------|---------|
- 問12 8世紀の日本と大陸との交流について、高僧である鑑真が来日した当時の状況を説明した文として最も適切なものはどれか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 遣隋使の小野妹子らを派遣し、大陸の進んだ制度や仏教の経典を取り入れることに努めた。 | 2. 邪馬台国の女王である卑弥呼が、魏の皇帝から「親魏倭王」の称号と金印を授かった。 | 3. 遣唐使を派遣して唐の制度や文化を積極的に取り入れ、国際色豊かな天平文化が栄えた。 | 4. モンゴル帝国の軍勢が九州北部へ侵攻し、日本の武士たちが防衛のために戦った。 |
|--|--|---|--|
- 問13 743年に出来た墾田永年私財法が、その後の日本の社会に与えた影響や背景について、正しい説明はどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 土地の永久私有が認められたことで、貴族や寺社が大規模な私有地である「荘園」を形成するきっかけとなった。 | 2. 開墾した土地は三世代に限り私有が認められたが、それ以降は国に返還することとされた。 | 3. 農民に等しく土地を配分する班田収授の法が、この法令によってより確実に実施されるようになった。 | 4. 公地公民の原則を強化し、すべての土地を国が管理する仕組みを徹底させた。 |
|--|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 正しい戒律を伝えて僧侶の資格を厳格化し、律宗を広めて仏教界の秩序を整えるため	当時の日本では、税を逃れるために勝手に僧侶を名乗る者が増えたことが社会問題となっていました。そのため、国家は唐から高僧である鑑真を招き、正式な儀式（授戒）を経て僧侶となる仕組みを確立させました。これにより、仏教界の質と規律が向上しました。なお、天台宗は最澄、真言宗は空海、社会事業は行基に関連する内容です。
問2	答え 2 西アジアやインドの文化の影響を受けたガラス製の容器や漆器の水さしなどが残されており、シルクロードを通じた文化の伝来がうかがえる。	遣唐使の往来により、唐のみならずシルクロードを経由して西アジア（ペルシア）やインドの文物が日本に持ち込まれました。これらは聖武天皇の遺品などとともに正倉院に収められ、当時の国際色豊かな文化を今に伝えています。
問3	答え 1 正倉院	聖武天皇の四十九日の際に、光明皇后が天皇ゆかりの品を東大寺に献納したことが始まりです。校倉造という建築様式でも知られ、シルクロードを経由して伝わった西アジア（ペルシア）風の工芸品が数多く保管されており、「シルクロードの終着点」とも呼ばれます。
問4	答え 4 三世一身の法では、期限が来ると土地を返さなければならず、農民の開墾意欲が低下していたから。	723年に制定された三世一身の法は、新しく開墾した土地を三代（あるいは一代）に限り私有を認めるものでしたが、返還期限が近づくと農民が開墾を放棄し、土地が再び荒廃するという問題が起きました。食糧不足を解消するためにさらなる開墾を促す必要があった政府は、743年に土地の永年私有を認める方針へと転換しました。この政策変更は、国家が土地を直接支配する仕組みから、私有地を認める仕組みへの大きな転換点となりました。
問5	答え 1 戸籍に基づいて口分田が割り当てられていたが、成人男性には重い税や労役の負担がかかっていた	奈良時代には律令制度のもと、戸籍を作成して6歳以上の男女に口分田を与える班田収授法が行われていました。しかし、農民（特に正丁と呼ばれる成人男性）には、収穫の一部を納める「租」だけでなく、布や特産品を納める「庸・調」、さらには防人としての兵役や土木工事への従事といった非常に重い負担が課せられていました。こうした過酷な生活背景による社会の動揺を鎮めるために、聖武天皇は仏教による統治を強化しようと考えました。
問6	答え 4 国司	大化の改新以降、律令制度の整備によって天皇を中心とした中央政府が全国を直接支配する仕組みが作られました。中央政府から各地方（国）に派遣された官吏を国司と呼び、その下の単位である「郡」では、地元の有力な豪族が郡司に任命されて実務を補佐しました。これにより、地方の情報を中央が把握し、統治する体制が整えられました。
問7	答え 2 口分田	人民には性別や身分に応じて「口分田」が与えられました。この土地は売買が禁止されており、本人が死亡した場合には国に返すルールとなっていました。また、口分田を与えられた者は、収穫の約3%を納める「租」という税の負担を負いました。
問8	答え 1 古事記は、神話や国の成り立ちを記すことで、天皇による統治の由来を明らかにしようとした。	古事記は、当時の天皇が日本を治める正当性を示すために、古い伝承や神話を整理してまとめられた歴史書です。選択肢にある「地方の産物や土地の様子」を記したのは風土記であり、「和歌を収集」したのは万葉集です。それぞれの書物は、律令国家としての体制を整える中で、文化や政治的な意図を持って作成されました。
問9	答え 2 唐の制度を参考に、刑罰のきまりである「律」と行政などのきまりである「令」を組み合わせたもの	古代の日本は、先進的な統治技術を持っていた唐（中国）の仕組みを取り入れました。刑罰に関する「律」と、政治の仕組みや人々の義務を定めた「令」から成る法体系（律令）を整備することで、豪族による支配から天皇を中心とする組織的な国家へと移行を目指しました。武士の慣習に基づくものは中世の「御成敗式目」など、欧米を参考にしたものは近代の「大日本帝国憲法」などを指します。
問10	答え 3 調	律令制度下の税制において、収穫した稲の一部を納める「租」は地方の国庫に貯蔵されましたが、「調」は絹や糸、布、さらに各地の特産物を都まで運んで納める必要がありました。平城京跡から出土した木簡などの史料からも、地方から多様な品物が都へ送られていたことが確認されています。
問11	答え 2 鑑真	当時の日本では仏教による国づくりが進められていましたが、僧侶の規律を正すための「戒律」を授けられる指導者が不足していました。そこで、遣唐使の要請を受けた唐の僧侶が、失明という困難に遭いながらも来日を果たし、奈良に唐招提寺を建立して正しい教えを広めました。
問12	答え 3 遣唐使を派遣して唐の制度や文化を積極的に取り入れ、国際色豊かな天平文化が栄えた。	奈良時代の日本は、遣唐使を通じて唐の優れた政治制度（律令制）や仏教、芸術を導入しました。鑑真は唐から招かれ、何度も遭難を繰り返しながらも来日を果たし、日本の仏教における正しい規律を伝えるなど、文化の発展に大きく貢献しました。
問13	答え 1 土地の永年私有が認められたことで、貴族や寺社が大規模な私有地である「荘園」を形成するきっかけとなった。	墾田永年私財法は、新しく開墾した土地の「永年私有」を認めるものでした。この制度を利用して、財力のある貴族や大きな寺社が農民を使って大規模な開墾を進めた結果、私有地である「荘園（初期荘園）」が各地に誕生しました。これは、すべての土地と人民は国家のものであるとする「公地公民」の原則が崩れていく大きな要因となりました。

問1 飛鳥・奈良時代に行われた班田収授法の内容として、正しい説明はどれですか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 武士に対して先祖伝来の領地の支配を認め、その代わりに軍役を課す仕組みを整えた。 | 2. 新たに開墾した土地を永久に私有することを認めることで、農業生産の拡大を図った。 | 3. 土地の所有権を認め、地価に応じた金額を現金で納めさせることで国家の財源を確保した。 | 4. 6歳以上の男女を対象に口分田が割り当てられ、本人が死亡した際に国へ返すこととされた。 |
|--|--|--|---|

問2 奈良時代、平城京内にある東大寺に巨大な大仏が建立されました。聖武天皇がこのような大規模な造営活動を行った背景として、当時の社会状況をふまえた理由を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2017年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 唐との国交が断絶したため、日本独自の仏教文化を新たに創造しようとした。 | 2. 地方の豪族たちが独自に仏教を広めていたため、中央の権威を統一しようとした。 | 3. 伝染病の流行や政治的な混乱が続いていたため、仏教の力で国を鎮めようとした。 | 4. 大規模な土木工事を行うことで、失業者に職を与え景気を回復させようとした。 |
|--|--|--|---|

問3 律令時代の戸籍に、53歳の男性(戸主)、52歳の女性、29歳の男性、25歳の女性、1歳の男児の計5名からなる家族が記されているとします。この家族のうち、乳児を除く男女4名に「口分田」が割り当てられている状況において、彼らが負担した「租」という税の仕組みとして正しい説明を選びなさい。 (2025年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|
| 1. 割り当てられた口分田の面積に応じて、収穫した稲を納める。 | 2. 成人男性のみが負担し、都へ出向いて10日間働くかわりに布を納める。 | 3. 北海道の開拓に従事する屯田兵として、防衛と農業を兼務する。 | 4. その土地の特産品である絹や糸などを、都まで運んで納める。 |
|---------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|---------------------------------|

問4 奈良時代末期にまとめられた、天皇や貴族から、防人や農民といった庶民にいたるまで、幅広い層の人々の歌が収められている日本最古の歌集は何ですか。 (2020年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|--------|-----------|--------|
| 1. 古今和歌集 | 2. 懷風藻 | 3. 新古今和歌集 | 4. 万葉集 |
|----------|--------|-----------|--------|

問5 奈良時代、天皇を中心とした中央集権体制を確立するため、全国は「国・郡・里」という行政単位に区分されました。このうち、都から派遣され、地方支配の責任者として行政を担った役職は何ですか。 (2022年 広島県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 国司 | 2. 守護 | 3. 郡司 | 4. 地頭 |
|-------|-------|-------|-------|

問6 律令国家が「班田収授法」を施行した目的や、その仕組みを説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 石川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与え、生活の安定を図るとともに税を徴収する体制を整えるため。 | 2. 武士に領地を分け与え、軍事力として国家を守らせることで中央集権的な体制を維持するため。 | 3. 開墾した土地を永久に私有することを認め、貴族や寺院による広大な土地の所有を奨励するため。 | 4. 有力な農民に土地を安く売り渡し、収穫した米を自由に売買できるようにすることで経済を活性化させるため。 |
|--|--|---|---|

問7 古代の日本において、天皇を中心とした国づくりを推進するために実施された大規模な事業について、学習ノートの記述として正しいものはどれですか。 (2017年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------------------------|-------------------------|-----------------------------|-------------------------------|
| 1. 墾田永年私財法を廃止し、すべての土地を公地とした | 2. 平城京を造営し、国家の威信を内外に示した | 3. 廃藩置県を実施し、地方支配を中央政府の直轄とした | 4. 御成敗式目を制定し、武士に対する裁判基準を明確にした |
|-----------------------------|-------------------------|-----------------------------|-------------------------------|

問8 遣唐使の派遣と、その往来に関する記述として最も適切なものはどれか。なお、日本と朝鮮半島の諸国との関係性が航路に与えた影響に留意して答えなさい。 (2016年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 新羅との友好関係が続いたため、派遣期間を通じて常に朝鮮半島の西海岸を北上する経路が維持され、阿倍仲麻呂もこの安全なルートで帰国を試みた。 | 2. 一貫して対馬から朝鮮半島へ渡り、そこから陸路で唐の都を目指す経路が取られたため、航海中の遭難のリスクはほとんど存在しなかった。 | 3. 初期は九州から沖縄を経由する「南島路」が中心だったが、航海技術が向上した平安時代以降は、朝鮮半島の沿岸を北上する「北路」が確立された。 | 4. 初期は朝鮮半島の沿岸を通る安全な「北路」が利用されたが、新羅との関係が悪化すると、東シナ海を横断する危険な「南路」が主に使われるようになった。 |
|---|--|--|--|

問9 奈良時代に編纂された書物のうち、中央政府の正史としてまとめられた『日本書紀』や『古事記』と比較した際の、『風土記』の特徴として適切な説明はどれですか。 (2023年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|---|
| 1. 万葉仮名を用いて、天皇から防人、農民まで幅広い階層の人々が詠んだ歌をまとめた。 | 2. 律令制度に基づく税の徴収を目的として、各地の戸籍や土地の面積を詳細に記した。 | 3. 天皇の系譜や国家の成り立ちを、神話や伝説を交えて年代順に体系化した。 | 4. 地方の国ごとに、土地の産物や地名の由来、古くから伝わる伝承などが記録された。 |
|--|---|---------------------------------------|---|

問10 奈良時代の国際交流と、当時の都の構造に関する記述として、最も適切な組み合わせを選びなさい。なお、当時の都には中央を南北に貫く大規模な道路が整備され、計画的な都市造りが行われていました。 (2023年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 東海道を中央を通り、渤海から派遣された使節によって仏教の経典が独占的に輸入された。 | 2. 朱雀大路が中央を通り、シルクロードを通じて唐やイスラム帝国の物品がもたらされた。 | 3. 御堂筋が中央を通り、モンゴル帝国から伝わった建築技術で平城宮が建設された。 | 4. 北条大路が中央を通り、宋との正式な国交を通じて貨幣経済が急速に浸透した。 |
|--|---|--|---|

問11 律令制が整えられた時期、政府は戸籍を作成して人々の把握に努めました。この戸籍に基づいて行われた「班田収授法」の内容として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------------|--|---|---------------------------------------|
| 1. 新しく開墾した土地を、三世代にわたって私有することを認める制度。 | 2. 6歳以上の男女に口分田を与え、死亡した際にはその土地を国に返還させる制度。 | 3. 有力な貴族や寺社が所有する大規模な私有地を、国家の直轄地として没収する制度。 | 4. 平城京の周辺にある土地を、功績のあった役人に対して永久に与える制度。 |
|-------------------------------------|--|---|---------------------------------------|

問12 奈良時代の中頃、聖武天皇は、社会の混乱を鎮めるために仏教の力によって国家の安泰をはかろうとしました。このような考え方を何といいますか。 (2023年 高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|------------|---------|
| 1. 浄土信仰 | 2. 神仏習合 | 3. 鎮護国家の思想 | 4. 末法思想 |
|---------|---------|------------|---------|

問13 奈良時代において、疫病の流行や政治的な混乱から国家の安定をはかるため、仏教の力で国を守ろうとする思想を何と呼びますか。この思想に基づき、各地に国分寺や国分尼寺が建立されました。 (2017年 奈良県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 鎮護国家 | 2. 律令政治 | 3. 本地垂迹 | 4. 王土王民 |
|---------|---------|---------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 6歳以上の男女を対象に口分田が割り当てられ、本人が死亡した際に国へ返すこととされた。	律令国家の基本となった土地制度で、戸籍を作成することで税（租・庸・調）を課す対象を明確にしました。選択肢にある「新たに開墾した土地を永久に私有することを認める」のは、後に班田収授法が崩壊する原因ともなった墾田永年私財法の説明です。また、現金で納税する仕組みは明治時代の地租改正、武士の土地支配は中世の封建制度の特徴です。
問2	答え 3 伝染病の流行や政治的な混乱が続いていたため、仏教の力で国を鎮めようとした。	当時は天然痘の流行や、貴族・皇族間の政治的な争いが絶えず、社会不安が広がっていました。聖武天皇は、仏教の力によって国家の災いを取り除こうとする「鎮護国家」の思想に基づき、都に東大寺、諸国に国分寺・国分尼寺を建立するよう命じました。これは単なる宗教活動ではなく、国家の安定を図るための重大な統治政策の一環でした。
問3	答え 1 割り当てられた口分田の面積に応じて、収穫した稲を納める。	律令制度下の「租」は、性別に関係なく、口分田を割り当てられた者すべてがその面積に応じて負担する税でした。提示された家族構成では、6歳以上の男女が対象となるため、1歳の乳児を除く4名がそれぞれの口分田に応じた稲を納めることになります。選択肢にある屯田兵は明治時代の制度であり、律令制とは関係ありません。
問4	答え 4 万葉集	奈良時代末期に成立した日本最古の歌集です。天皇や貴族だけでなく、東国の農民や九州の警備に当たった防人（さきもり）の歌なども収められており、当時の人々の素朴な感情や生活を知ることができる貴重な資料です。現在の元号である「令和」の典拠となったことでも知られています。
問5	答え 1 国司	大化の改新以降、律令制度の整備によって天皇を中心とした中央政府が全国を直接支配する仕組みが作られました。中央政府から各地方（国）に派遣された官吏を国司と呼び、その下の単位である「郡」では、地元の有力な豪族が郡司に任命されて実務を補佐しました。これにより、地方の情報を中央が把握し、統治する体制が整えられました。
問6	答え 1 戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与え、生活の安定を図るとともに税を徴収する体制を整えるため。	班田収授法は、戸籍を作成して人々の動向を把握し、身分や性別に応じて「口分田」を割り当てる制度です。これにより、国家は農民に一定の生産手段を与えて生活を維持させつつ、労働力の確保と「租」などの税収を確実なものにしようとしました。土地は一代限りで、死後は国に返すことが定められていました。
問7	答え 2 平城京を造営し、国家の威信を内外に示した	奈良時代に建設された平城京は、古代の律令国家がその安定した統治能力と経済力を示すために行った象徴的な事業です。選択肢にある御成敗式目は鎌倉時代、廃藩置県は明治時代の出来事であり、古代の天皇を中心とした国づくりの文脈とは異なります。
問8	答え 4 初期は朝鮮半島の沿岸を通る安全な「北路」が利用されたが、新羅との関係が悪化すると、東シナ海を横断する危険な「南路」が主に使われるようになった。	遣唐使の航路は、朝鮮半島に近い「北路」が当初の主流でしたが、日本と新羅の関係が緊張・悪化したことにより、後半期には九州から東シナ海を直接横断して唐へ向かう「南路」や「南島路」が選ばれるようになりました。当時の航海技術では広大な海を横断することは極めて困難で、多くの使節が遭難するなどの犠牲を払いました。阿倍仲麻呂のように、唐で長く活躍したものの帰国を果たせなかった人物も存在します。
問9	答え 4 地方の国ごとに、土地の産物や地名の由来、古くから伝わる伝承などが記録された。	風土記は、中央から派遣された国司がその国の情報をとりまとめたものです。朝廷が各地域の資源や文化を把握しようとした目的が背景にあります。一方で、日本書紀や古事記は天皇中心の国家形成の正当性を説くための歴史書であり、記述の対象や目的が異なります。
問10	答え 2 朱雀大路が中央を通り、シルクロードを通じて唐やイスラム帝国の物品がもたらされた。	平城京の中央を南北に走るメインストリートは朱雀大路と呼ばれ、その幅は約74メートルに及ぶ巨大なものでした。この都には遣唐使などによってもたらされた大陸の最新文化が集積しました。正倉院の宝物に見られるように、ペルシャ（イスラム帝国周辺）のデザインの影響を受けた工芸品などが残されていることは、平城京がシルクロードを介したユーラシア大陸のネットワークに繋がっていたことを物語っています。
問11	答え 2 6歳以上の男女に口分田を与え、死亡した際にはその土地を国に返還させる制度。	律令国家の形成期において、国家は「租」という税を確実に集めるために、班田収授法を確立しました。戸籍をもとに6歳以上の男女に口分田を割り当て、労働力を把握すると同時に、土地の売買や世襲を禁じることで、国家による土地支配を維持しようとしました。これに対して、後に制定された「墾田永年私財法」は、開墾した土地の永年私有を認めるものであり、班田収授法の崩壊につながる出来事でした。
問12	答え 3 鎮護国家の思想	聖武天皇の時代には、疫病の流行や政治的な混乱が続いていました。天皇はこれらを仏教の力で解決しようと考え、この思想に基づいて全国に寺院を建立するなどの政策を推し進めました。仏教を国家の統治に利用しようとした点が特徴です。
問13	答え 1 鎮護国家	奈良時代の聖武天皇は、天然痘の流行や貴族の対立による社会の不安を解消するため、仏教によって国家を安定させる「鎮護国家」の思想を推進しました。この方針に基づき、都には東大寺、諸国には国分寺・国分尼寺が建てられることとなりました。

- 問1 律令制における税の仕組みについて、都での労役の代わりとして布を納める「庸」の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--|------------------------------------|--|
| 1. 口分田の面積に応じて、収穫した稲の約3%を地方の倉庫へ納める負担。 | 2. 都での労役の代わりに布を納め、主に都での役人の食糧や経費に充てられた負担。 | 3. 各地の絹や布、糸、海産物などの特産物を都まで運んで納める負担。 | 4. 国司の命令により、地方での土木工事などのために年間60日以内働く負担。 |
|--------------------------------------|--|------------------------------------|--|
- 問2 律令制度の下で実施された班田収授法では、6歳以上の男女に口分田が与えられました。この口分田の面積に応じて課され、収穫高の約3%にあたる稲を地方の諸国にある倉庫に納めた税を何と呼びますか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|------|------|
| 1. 庸 | 2. 雑徭 | 3. 調 | 4. 租 |
|------|-------|------|------|
- 問3 律令国家の税制において、戸籍に登録された人々に対する土地の配布と税の負担に関する説明として、当時の制度の仕組みを正しく述べているものはどれですか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 戸籍に登録された者のうち、6歳以上の男女であれば身分に応じた広さの土地が与えられ、収穫に応じた税を納めた | 2. 土地の不足を防ぐため、口分田は成人した男性のみに与えられ、その代表として戸主が税を負担した | 3. 6歳以上の男女に土地が与えられたが、実際に税として稲を納める義務があったのは戸主のみであった | 4. 戸籍に記載された家族のうち、労働力となる男性のみに土地が与えられ、布や特産物を納める義務が生じた |
|---|--|---|---|
- 問4 東大寺の正倉院には、青く透き通ったガラス製の坏（容器）など、当時の日本にはなかった高度な技術による宝物が多数収められています。これらの宝物が日本に伝わった経路や背景について述べた文として、適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 南蛮貿易により、ヨーロッパの宣教師がキリスト教の布教とともに献上した。 | 2. 琉球王国の中継貿易により、東南アジア諸国の特産品が九州を経て近畿地方へ運ばれた。 | 3. シルクロードを経由して西アジアなどから唐へ伝わった文化が、遣唐使によって日本へもたらされた。 | 4. 鎌倉時代の日宋貿易を通じて、中国から最新の製紙技術とともに輸入された。 |
|--|---|---|--|
- 問5 律令時代の税制において、班田収授法に基づいて人々に割り当てられた口分田に対し、収穫した稲の約3%を納めることと定められていた税の名称を答えなさい。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|------|------|------|
| 1. 雑徭 | 2. 調 | 3. 庸 | 4. 租 |
|-------|------|------|------|
- 問6 大化の改新後の律令国家において、6年ごとに作成される戸籍に基づき、6歳以上の人々に口分田（くぶんでん）を与え、死ぬと国に返還させる土地制度を何といいますか。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|------------|
| 1. 班田収授法 | 2. 太閤検地 | 3. 地租改正 | 4. 墾田永年私財法 |
|----------|---------|---------|------------|
- 問7 聖武天皇が発した「大仏造立の詔」には、「富のある者も、労働力を提供する者も、一枝の草や一握りの土を持ち寄るような気持ちで協力してほしい」という意図が記されています。この事業を円滑に進めるため、聖武天皇が民衆の協力を得るために協力させた人物と、その背景の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2022年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 摂政であった聖徳太子に命じて、十七条の憲法によって役人の規律を正させた | 2. 唐から招いた鑑真に命じて、仏教の厳しい戒律を民衆に守らせることで労働を強いた | 3. 民衆から絶大な支持を受けていた僧の行基を起用し、資金や人手を集めさせた | 4. 有力貴族の藤原氏を動員し、荘園の農民を強制的に都へ連行して工事を行わせた |
|--|---|--|---|
- 問8 律令制において、戸籍に基づいて人々に土地を貸し与え、死ぬと国に返還させるという仕組みを何といいますか。 (2025年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|-----------|-----------|
| 1. 公地公民の制 | 2. 租・庸・調の制 | 3. 三世一身の法 | 4. 班田収授の法 |
|-----------|------------|-----------|-----------|
- 問9 奈良時代において、仏教の力で国家の安定を図る「鎮護国家」の思想に基づき、全国に国分寺・国分尼寺を建立することを命じた人物は誰ですか。また、その人物の遺品が納められ、国際色豊かな天平文化を今に伝える、奈良市に位置する正倉院との関わりが深い人物を次の中から選びなさい。 (2022年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|---------|
| 1. 桓武天皇 | 2. 後三条天皇 | 3. 推古天皇 | 4. 聖武天皇 |
|---------|----------|---------|---------|
- 問10 古代日本の租税制度のうち、班田収授法との関わりが最も深い「租」の仕組みや特徴を説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 国司の命令により、土木工事などのために年間60日を限度として働く負担。 | 2. 都での労役の代わりに、麻布などを都まで運んで納める負担。 | 3. 口分田を与えられた民衆が、収穫した稲の一部を地方の国庫に納める負担。 | 4. 絹や布、糸といった各地の特産品を、都まで運んで納める負担。 |
|--|---------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|
- 問11 近江国府跡のように、古代の地方政治の中心地であった「国府」に関連して、律令制下の地方支配の仕組みについて説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 国府には中央から派遣された郡司が集まり、天皇から与えられた広大な土地を私有地として開墾した。 | 2. 国司は有力豪族の中から選ばれ、国府を拠点として軍勢力を蓄え、中央政府の支配に抵抗した。 | 3. 郡司は国府に常駐し、都から派遣された国司を補佐するために、数年ごとに交代で都へ赴き研修を受けた。 | 4. 国司は国府に居住し、国内の郡司を指導して、租・庸・調などの税の徴収や戸籍の作成を管理した。 |
|---|--|---|--|
- 問12 柿本人麻呂が現在の香川県坂出市にある沙弥島（しゃみじま）に立ち寄った際に詠んだ歌が収録されていることでも知られる、奈良時代の歌集「万葉集」の構成に関する記述として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|------------------------------------|--|--|
| 1. 鎌倉時代初期に後鳥羽上皇の命で編纂され、繊細で情熱的な歌風が特徴である。 | 2. 醍醐天皇の命によって編纂された、日本で最初の勅撰和歌集である。 | 3. 防人や農民といった幅広い階層の歌が収められ、素朴で力強い歌風が特徴である。 | 4. 漢字のへんやつくりの一部をとって作られた「カタカナ」を用いて、全ての歌が記されている。 |
|---|------------------------------------|--|--|
- 問13 奈良時代、聖武天皇の遺愛の品や東大寺の宝物を納めるために建てられた施設について述べたものとして、最も適切な名称を答えなさい。この施設は、三角形の木材を組み上げた「校倉造（あぜくらづくり）」という建築様式が採用されていることでも知られています。 (2018年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 唐招提寺 | 2. 法隆寺 | 3. 平等院 | 4. 正倉院 |
|---------|--------|--------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 都での労役の代わりに布を納め、主に都での役人の食糧や経費に充てられた負担。	庸は、成人男子が都へ行って年間10日間働く代わりに、布（2丈6尺）を納める制度です。この庸や、特産物を納める「調」は、負担者が自力で都まで運ばなければならず、農民にとって非常に重い負担となりました。選択肢にある稲を納めるものは「租」、地方での労役は「雑徭」に該当します。
問2	答え 4 租	律令制における「租」は、土地（口分田）を対象に課された税です。班田収授法によって配分された口分田の面積に基づき、収穫した稲を納めました。納められた稲は、主に地方（国府など）の財源や飢饉に備えた備蓄として利用された点が、都へ運ばれた「調」や「庸」との大きな違いです。
問3	答え 1 戸籍に登録された者のうち、6歳以上の男女であれば身分に応じた広さの土地が与えられ、収穫に応じた税を納めた	班田収授法の特徴は、戸主などの代表者だけではなく、戸籍に登録された「6歳以上の男女」一人ひとりを対象に土地（口分田）を割り当てた点にあります。政府は戸籍を通じて民衆を個人単位で把握し、性別や身分に応じた面積の土地を与える代わりに、収穫物から「租」を徴収することで、国家の安定した財政収入を確保しようとしていました。
問4	答え 3 シルクロードを経由して西アジアなどから唐へ伝わった文化が、遣唐使によって日本へもたらされた。	正倉院の宝物には、ペルシャ（西アジア）風のデザインやガラス工芸品が含まれています。これらはシルクロードを通して唐に集まったものが、遣唐使などの往来によって日本まで伝えられたもので、当時の日本が国際的な交流網の東端に位置していたことを示しています。
問5	答え 4 租	班田収授法は、戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与え、本人が死亡すると国に返させる制度です。この口分田の面積に応じて課せられた税が「租」であり、収穫した稲を納める義務がありました。他の税制である「調」は各地の特産物、「庸」は都での労役の代わりにの布、「雑徭」は地方での労役を指します。
問6	答え 1 班田収授法	律令国家は「公地公民」の原則のもと、土地と民衆を直接支配しようとしていました。戸籍を作成して人々の所在を把握し、6歳以上の男女に一定の面積の田（口分田）を割り当て、収穫の約3%を「租（そ）」として納めさせるこの仕組みは、国家財政の基盤となりました。この制度は6年ごとの戸籍作成に合わせて実施されました。
問7	答え 3 民衆から絶大な支持を受けていた僧の行基を起用し、資金や人手を集めさせた	聖武天皇は大仏造立を国家の強制的な事業とするのではなく、広く民衆が自発的に参加する形を理想としました。そのため、当時は政府の許可なく布教を行い弾圧の対象であったものの、橋の建設やため池の築造などの社会事業を通じて民衆から深く慕われていた僧の行基を登用しました。行基は大仏造立の責任者（勸進）として、多くの人々から寄付や労働力を募る役割を果たしました。
問8	答え 4 班田収授の法	唐の均田制を参考にした土地制度です。政府は人々に口分田を与えて農業を行わせる代わりに、収穫した稲の一部を「租」として納めさせました。この循環によって、国家が土地と人民を直接支配することを目指しました。
問9	答え 4 聖武天皇	奈良時代の聖武天皇は、疫病や社会不安から国を守るために仏教を深く信仰し、東大寺に大仏を造立するとともに、全国各地に国分寺・国分尼寺を建てました。この時代に栄えた国際色豊かな文化を天平文化と呼び、聖武天皇の愛用品などが納められた正倉院の宝庫は、シルクロードを経由してもたらされた大陸の文物が現存していることで世界的に知られています。桓武天皇は平安京への遷都、推古天皇は飛鳥時代の政治、後三条天皇は摂関政治を抑えた親政で知られる人物です。
問10	答え 3 口分田を与えられた民衆が、収穫した稲の一部を地方の国庫に納める負担。	「租」は班田収授の制と密接に結びついており、政府から与えられた口分田という土地を課税対象としていました。これに対し、「調」は地方の特産物、「庸」は都での労役（歳役）の代わりにの布、「雑徭」は地方での労働を指し、これらは土地ではなく人（成人男性）を主な対象として課された税であるという違いがあります。
問11	答え 4 国司は国府に居住し、国内の郡司を指導して、租・庸・調などの税の徴収や戸籍の作成を管理した。	国府は、中央から派遣された国司が政務を行う拠点であり、現在の都道府県庁のような役割を果たしていました。国司の主な仕事は、班田収授法の実施に伴う戸籍の作成や、租・庸・調といった税の取り立てを監督することでした。これらの実務は、その土地に根を張る郡司（元・国造などの豪族）の協力を得て進められました。
問12	答え 3 防人や農民といった幅広い階層の歌が収められ、素朴で力強い歌風が特徴である。	万葉集は、特定の階級に限定されず、天皇から庶民まで多様な身分の歌が収められているのが最大の特徴です。柿本人麻呂のような宮廷歌人が活躍する一方で、辺境の警備に駆り出された「防人」の悲哀や家族への思いを詠んだ歌も収録されており、当時の社会状況を幅広く反映しています。また、表記には漢字の意味や音を借りた「万葉仮名」が使われています。
問13	答え 4 正倉院	聖武天皇の没後、光明皇后が天皇ゆかりの品々を東大寺に奉納したことが始まりとされています。湿気から宝物を守るために、三角形の木材を組み合わせた校倉造という技法が用いられました。中にはシルクロードを経由してペルシャなどから伝わった国際色豊かな宝物も多く含まれています。

問1 律令制度のもと、都から地方へ行政命令が伝えられ、民衆に届くまでの仕組みについて説明した文として、最も適切なものはどれですか。

(2025年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 幕府から派遣された守護が、現地の役人である国司を指揮し、荘園領主を通じて民衆に命令を伝達した。 | 2. 中央から派遣された国司が、地方豪族から任命された郡司に命令を伝え、さらに里長などを通じて民衆に伝達された。 | 3. 地方豪族が都へ赴いて国司となり、天皇から直接受けた命令を、現地で採用された地頭を通じて民衆に伝達した。 | 4. 中央の役人である郡司が、各地方に置かれた国司に命令を伝え、そこから代官を通じて民衆に伝達された。 |
|--|--|--|---|

問2 奈良時代の文化を象徴する『万葉集』に関連して、当時の社会状況や表現方法について述べた文として正しいものを選びなさい。

(岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 貴族文化の全盛期であったため、都以外の地方の暮らしについて詠まれた歌は一切含まれていない。 | 2. 当時の国際情勢を反映し、すべて唐の詩人による漢詩を日本語に翻訳したものが集められている。 | 3. 漢字の音や訓を借りて日本語を表記する万葉仮名が使われ、防人の歌からは家族と離れて暮らす悲しみが読み取れる。 | 4. 平仮名が発明された直後の時期であったため、すべての和歌が平仮名によって記録されている。 |
|--|---|--|--|

問3 聖武天皇が全国に国分寺を建立することを命じた背景や目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。

(2018年 大分県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|
| 1. 外国からの侵略に備え、各地の寺院を軍事的な砦として活用しようとした。 | 2. 儒教の教えを広めることで、農民の道徳心を高め、年貢の徴収を円滑にしようとした | 3. 地方の豪族を仏教によって監視し、天皇による中央集権を完成させようとした。 | 4. 仏教の力を借りることで、社会不安を払い、国家の安定をはかろうとした。 |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|

問4 奈良時代の人々の生活や感情を伝える資料において、天皇や貴族から、防人（さきもり）や農民といった幅広い階層の人々の和歌が収められている、日本最古の歌集として正しいものを選びなさい。

(2018年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|--------|----------|--------|
| 1. 新古今和歌集 | 2. 万葉集 | 3. 古今和歌集 | 4. 方丈記 |
|-----------|--------|----------|--------|

問5 班田収授法のもとで行われた、人々と土地の関係や税の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。

(2015年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|--|------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 農民を5人一組の集団に編成し、年貢の納入に対して連帯責任を負わせた。 | 2. 戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与え、収穫した稲の一部を「租」として納めさせた。 | 3. 土地の所有権を認め、地価の3%を現金で納めさせた。 | 4. 武士に対して領地を与え、その代わりに軍役や奉公の義務を負わせた。 |
|---------------------------------------|--|------------------------------|-------------------------------------|

問6 奈良時代の律令国家が、平城京に「市」を設置し「和同開珎」を鑄造した目的やその背景について述べた文として、最も適切なものはどれか。

(2023年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 和同開珎を平城京の市でのみ使える「記念品」として発行することで、地方から平城京への人口流入を防ぐことを最大の目的としていた。 | 2. 当時深刻だった銅不足を解消するために、平城京の市に集まる商人から強制的に銅を回収する手段として和同開珎を発行した。 | 3. 唐の制度にならって国家としての体制を整えるとともに、貨幣を流通させることで都の建設に必要な労働力や物資を円滑に確保しようとした。 | 4. 全国の農民に貨幣を均等に配布することで、平城京以外の地方都市においても物資の売買を禁止し、自給自足の生活を徹底させるためであった。 |
|---|--|---|--|

問7 律令制度下の土地の仕組みにおいて、6歳以上の男女に与えられ、死後には政府へ返却することが定められていた土地を「口分田」と呼びます。この口分田の運用実態に関する説明として正しいものはどれですか。

(2018年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------|-------------------------------------|---|---------------------------------------|
| 1. 売買や譲渡が自由に行える、個人の完全な私有地であった。 | 2. 本人が死亡した後も、子孫が代々耕作権を引き継ぐことが認められた。 | 3. 新しく開墾した者が、永久に自分の土地にできる制度に基づいた土地であった。 | 4. 6年ごとに作成される戸籍に基づいて、人々に配分される仕組みであった。 |
|--------------------------------|-------------------------------------|---|---------------------------------------|

問8 奈良時代、聖武天皇は「鎮護国家」の思想に基づき、全国の国ごとに国分寺・国分尼寺を建立するよう命じました。この政策がとられた当時の背景や目的として最も適切な説明はどれですか。

(2018年 香川県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 一向一揆のような大規模な民衆の蜂起を抑えるため、既存の寺院の統制を強化した | 2. 仏教の力で国を護り、伝染病の流行や政治的な混乱による社会不安を鎮めようとした | 3. 法然が説いた浄土宗を全国に普及させ、個人の魂の救済を第一の目的とした | 4. 武士の間に禅宗を広めることで、鎌倉幕府に対する忠誠心を高めようとした |
|--|---|---------------------------------------|---------------------------------------|

問9 奈良時代の土地・税制度の変化について述べた次の文の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして正しいものはどれですか。「人口の増加などにより（①）が不足したため、政府は743年に（②）を出し、自ら新しく開墾した土地の永代にわたる私有を認めた。」

(2021年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------|--------------|-----------------|-----------------|
| 1. ①口分田 ②墾田永年私財法 | 2. ①荘園 ②大宝律令 | 3. ①検地 ②墾田永年私財法 | 4. ①口分田 ②三世一身の法 |
|------------------|--------------|-----------------|-----------------|

問10 奈良時代、平城京を中心に展開された「天平文化」について、その成立背景と中心人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。

(山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 聖武天皇が仏教による鎮護国家を目指し、唐の影響を受けた国際的な文化が形成された。 | 2. 足利義満が日明貿易を推進し、公家文化と武家文化が融合した北山文化が形成された。 | 3. 藤原道長が摂関政治の全盛期を築き、かな文字を用いた女流文学が発展した。 | 4. 桓武天皇が新しい仏教を保護し、山岳修行を中心とした神秘的な文化が形成された。 |
|---|--|--|---|

問11 奈良時代には、天皇を中心とする律令国家の体制を整えるため、国家の成り立ちや正当性を示す歴史書の編纂が行われました。この時期にまとめられた、日本最古の歴史書とされる書物と、中国の歴史書の形式にならって編纂された正史の組み合わせとして正しいものを選びなさい。

(2019年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------|-------------|-------------|--------------|
| 1. 日本書紀・解体新書 | 2. 風土記・日本書紀 | 3. 古事記・日本書紀 | 4. 古今和歌集・万葉集 |
|--------------|-------------|-------------|--------------|

問12 奈良時代に出された「人々と共に仏の世界に近づくこうと思い、金銅の大仏をつくることを決心した」という主旨の詔（みことり）に見られる、仏教の力によって国家の安定や平和を願う思想を何といいますか。

(2022年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 天人相関 | 2. 公地公民 | 3. 神仏習合 | 4. 鎮護国家 |
|---------|---------|---------|---------|

問13 奈良時代の聖武天皇の時代を中心に栄えた天平文化を代表する彫刻作品で、奈良市の興福寺に安置されている、三つの顔と六本の腕を持つ仏像を何といいますか。

(2026年 福島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|----------|----------|-----------|
| 1. 阿修羅像 | 2. 弥勒菩薩像 | 3. 金剛力士像 | 4. 阿弥陀如来像 |
|---------|----------|----------|-----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 中央から派遣された国司が、地方豪族から任命された郡司に命令を伝え、さらに里長などを通じて民衆に伝達された。	律令国家では、全国を「国・郡・里」という行政単位に分けて統治しました。中央集権的な支配を強めるため、都からは貴族が「国司」として各地方へ派遣されました。しかし、現地の細かな実情を把握する必要があったため、古くからその土地を支配していた「地方豪族」を「郡司」に任命し、国司の指揮下で実務を担わせる二段構えの体制をとりました。守護や地頭は鎌倉時代以降、代官は主に江戸時代の役職であるため、律令制度の説明としては不適切です。
問2	答え 3 漢字の音や訓を借りて日本語を表記する万葉仮名が使われ、防人の歌からは家族と離れて暮らす悲しみが読み取れる。	万葉集が編纂された時代にはまだ「かな文字」が完成していなかったため、漢字の音や訓を組み合わせて日本語の音を写し取る「万葉仮名」という表記法が用いられました。また、九州の沿岸警備を命じられた「防人」の歌には、遠い故郷や家族を思う切実な心情が詠まれており、当時の民衆の負担や生活を知る貴重な手がかりとなっています。
問3	答え 4 仏教の力を借りることで、社会不安を払い、国家の安定をはかろうとした。	奈良時代の中頃は、天然痘の流行や政治的な混乱、飢饉などが重なり、社会が非常に不安定な状況にありました。聖武天皇はこうした災厄から国を救うため、仏教の力に頼る道を選びました。全国に国分寺を配置し、都には総本山となる東大寺を建立して大仏を造立するなど、国家規模での仏教政策を推進しました。
問4	答え 2 万葉集	万葉集は、奈良時代の末期にまとめられたとされる日本最古の歌集です。約4500首もの歌が万葉仮名で記されており、山上憶良による貧しい農民の暮らしを詠んだ「貧窮問答歌」や、九州の沿岸警備に送られた兵士による「防人の歌」など、当時の社会状況や庶民の率直な感情を今に伝える貴重な歴史資料となっています。一方、古今和歌集は平安時代の勅撰和歌集、方丈記は鎌倉時代の随筆です。
問5	答え 2 戸籍に基づいて6歳以上の男女に口分田を与え、収穫した稲の一部を「租」として納めさせた。	律令制のもとでは、政府は戸籍を作成して人々の性別や年齢を把握しました。6歳以上になると男女ともに口分田が与えられ、死ぬまでその土地を耕作する権利が認められる代わりに、収穫量の約3%にあたる稲を税として負担する義務がありました。
問6	答え 3 唐の制度にならって国家としての体制を整えるとともに、貨幣を流通させることで都の建設に必要な労働力や物資を円滑に確保しようとした。	律令国家は、唐の優れた貨幣制度を導入することで、国家としての権威を高めようと考えました。平城京内に市場を整備し、和同開珎による取引を促進した背景には、都の建設に従事する労働者への支払いや必要な資材の調達を、物々交換ではなく貨幣を介して効率的に行うという経済的な狙いがありました。
問7	答え 4 6年ごとに作成される戸籍に基づいて、人々に配分される仕組みであった。	律令制度における口分田は、国家から一時的に貸し与えられた土地という性質を持っていました。政府は正確な人数や年齢を把握するために6年ごとに「戸籍」を作成し、それをもとに公平に配分し直す班田収授を行いました。後に認められる「墾田永年私財法」のような土地の私有化とは異なり、個人の売買や世襲は原則として禁じられていた点が特徴です。
問8	答え 2 仏教の力で国を護り、伝染病の流行や政治的な混乱による社会不安を鎮めようとした	奈良時代、日本では天然痘の流行や藤原広嗣の乱といった深刻な社会不安が続いていました。聖武天皇は、仏教の力によって国家の安定を祈る「鎮護国家」の思想を重視し、全国に寺院を設置することで体制を整えようとしていました。選択肢にある禅宗や一向一揆、浄土宗などは、いずれも鎌倉時代や室町時代といった後の時代の出来事に関連するものです。
問9	答え 1 ①口分田 ②墾田永年私財法	班田収授法において、6歳以上の男女に与えられる土地を口分田と呼びますが、人口の増加に伴ってこの土地が不足しました。政府は当初、三世代に限り所有を認める「三世一身の法」を出しましたが、期限が来ると土地が返還されるため農民の意欲が上がらず、最終的に永久私有を認める「墾田永年私財法」へとつながりました。
問10	答え 1 聖武天皇が仏教による鎮護国家を目指し、唐の影響を受けた国際的な文化が形成された。	天平文化は、聖武天皇が仏教の力で国家の安寧を願った（鎮護国家）ことが大きな推進力となりました。当時、日本は積極的に唐の制度や文化を取り入れており、都である平城京には国際的な品々が集まりました。選択肢にある密教の発展（弘仁・貞観文化）や、かな文字の普及（国風文化）は、いずれも平安時代の特徴です。
問11	答え 3 古事記・日本書紀	奈良時代には、天皇による統治の由来を神話の時代からさかのぼって記録し、国内外に国家の正当性を示すための事業が行われました。その結果、712年に『古事記』が、720年に『日本書紀』が完成しました。『古今和歌集』は平安時代に編纂された勅撰和歌集であり、時代が異なります。
問12	答え 4 鎮護国家	奈良時代、相次ぐ疫病の流行や政治的な混乱、災害といった社会不安を背景に、仏教の教えによって国を護るという「鎮護国家」の思想が重視されました。聖武天皇はこの考えに基づき、都の東大寺に金銅の大仏を造立するだけでなく、全国各地に国分寺・国分尼寺を建立させ、国家の平穏を祈願しました。
問13	答え 1 阿修羅像	奈良時代の天平文化では、仏教による国家の安定を願う聖武天皇の政策を背景に、多くの優れた仏像が製作されました。興福寺に伝わる阿修羅像は、粘土や漆を用いた脱活乾漆造（だっかつかんしつぞう）という技法で作られており、三面六臂（三つの顔と六本の腕）の独特な姿と、繊細な表情が特徴です。

問1	奈良時代の代表的な建築物の一つに、東大寺にある「正倉院」があります。この建物には校倉造（あぜくらづくり）という建築様式が採用されていますが、ここに納められた多くの宝物が、現在まで良好な状態で保存されている理由や背景を説明した文として正しいものはどれですか。 （2023年 滋賀県公立入試 類似）			
	1. 推古天皇が仏教を保護し、日本で最初の本格的な仏教文化を後世に残すための倉庫としたため。	2. 聖武天皇の遺品を中心に、遣唐使が持ち帰った唐や西アジアの文物が納められ、厳重に管理されてきたため。	3. 藤原道長ら貴族が私財を投じて、日本独自の文化である国風文化の産物を守ろうとしたため。	4. 鑑真が来日した際、唐の最新の保存技術を日本に伝え、専用の博物館として建立されたため。
問2	奈良時代、地方の状況を把握するために政府の命令で作られた地理志があります。各国の自然環境、産物、土地の由来や伝承などが記録されたこの書物を何といいますか。 （2026年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 日本書紀	2. 風土記	3. 万葉集	4. 古事記
問3	奈良時代の文化について述べた文章において、聖武天皇の遺品や、シルクロードを経由して運ばれたペルシア・インドなどの国際色豊かな宝物を収蔵している建物を指す名称を選びなさい。この建物は、断面が三角形の木材を組み上げて壁を作る校倉造（あぜくらづくり）という技法が用いられていることでも知られています。 （2015年 佐賀県公立入試 類似）			
	1. 東大寺正倉院	2. 鹿苑寺金閣	3. 平等院鳳凰堂	4. 法隆寺金堂
問4	大宝律令などの法に基づいて整備された、奈良時代の国家体制について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 （2018年 奈良県公立入試 類似）			
	1. 地方の有力な武士が守護や地頭に任命され、土地の管理や裁判を行う仕組み。	2. 各地の諸侯が独自に領地を支配し、中央の将軍に対して軍役の義務を負う仕組み。	3. 中央の太政官と八省が政治を司り、地方の国々には中央から国司が派遣されて統治を行う仕組み。	4. 天皇から土地の支配権を与えられた貴族が、自ら現地に赴いて荘園を直接経営する仕組み
問5	8世紀の日本において、聖武天皇が国分寺建立の詔（みことのり）や大仏造立の詔を出した歴史的背景と目的を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 （2016年 岡山県公立入試 類似）			
	1. 寺院に国民の戸籍を管理させる制度を整えることで、税の徴収を確実にし、幕府の財政基盤を強固にするため。	2. 感染症の蔓延や貴族の反乱による社会の動揺を、仏教の教えに基づいた国家的な祈りによって鎮め、国を安定させるため。	3. 戦乱で亡くなった多くの武士や民衆を供養し、極楽往生を願う念仏の教えを全国の農民に普及させるため。	4. 日本古来の神々と仏教を一体とする考え方を広めることで、地方の豪族が持つ独自の宗教的権威を否定するため。
問6	ユーラシア大陸を横断した「シルクロード（絹の道）」が果たした、古代日本に対する歴史的な役割として最も適切なものはどれですか。 （2023年 大分県公立入試 類似）			
	1. ローマ帝国やペルシアなどの西方でつくられた工芸品や文化が、中国を経て日本へ伝わる経路となった	2. 聖徳太子が制定した冠位十二階などの制度を、西方の国々に広めるための外交ルートとして機能した	3. 日本の稲作技術や土器の製作技術を、中央アジアやヨーロッパへ輸出するための主要な貿易路となった	4. 北方の狩猟民族が獲得した毛皮を、九州地方の遺跡を通じて東南アジアへ運ぶための独占的な道となった
問7	奈良時代、律令に基づいて人々に課された租税のうち、絹、布、糸、あるいは各地の海産物などの特産物を都まで運んで納める義務を何と呼びますか。 （2024年 岡山県公立入試 類似）			
	1. 調	2. 租	3. 庸	4. 雑徭
問8	奈良時代、政府は地方の実情を把握し統治に役立てるため、各国の国司に土地の様子や産物、伝承などをまとめて報告するよう命じました。このように、当時の地方の自然や社会を知るための重要な手がかりとなっている地理書を何といいますか。 （2023年 静岡県公立入試 類似）			
	1. 万葉集	2. 日本書紀	3. 風土記	4. 古事記
問9	古代の日本における地方統治の仕組みについて、日本海側の交通や軍事上の拠点として重要視された佐渡島に置かれた行政単位に関する説明として、正しいものを選びなさい。 （2018年 静岡県公立入試 類似）			
	1. 五畿七道の北陸道に属する令制国として、島全体が「佐渡国」と定められた。	2. 西海道の一部として、九州地方の防衛を担う拠点の一つに位置づけられた。	3. 東山道に属し、内陸部の信濃国や上野国と密接な行政関係を持っていた。	4. 山陰道に属する令制国として、隠岐諸島とともに一つの行政単位を構成した。
問10	天平文化が隆盛を極めた奈良時代において、聖武天皇が仏教を厚く保護し、国の政治に取り入れた理由として最も適切な説明はどれですか。 （2017年 静岡県公立入試 類似）			
	1. 摂政や関白による政治を終わらせ、天皇が直接政治を行うための新しい理論が必要だったため	2. キリスト教の伝来に対抗して、日本古来の神道と仏教を融合させて新しい宗教を作るため	3. 疫病や政情不安が続く中、仏教の力で人々の心を安定させ国家を維持しようとしたため	4. 武士の力を抑制するために、寺院に独自の軍事力を持たせて権力の均衡を図ったため
問11	平安時代の初期に作成されたある戸籍の記録によると、男子が59人であるのに対し、女子が376人と記録されており、女子の割合が不自然に多くなっています。このような事実とは異なる内容が戸籍に記載された背景として、最も適切な説明を選んでください。 （2025年 長野県公立入試 類似）			
	1. 口分田の割り当てを受ける権利が女子のみに認められていたため、男子を女子として登録する必要があったため。	2. 都での労役の代わりに布を納める庸や、地方の特産物を納める調の負担が、主に成人男性に課されていたため。	3. 当時の社会では女性の地位が極めて高く、政治的な役職に就くために女子として登録する者が多かったため。	4. 収穫した稲の約3%を納める租の負担が、男子よりも女子の方が重くなるように定められていたため。
問12	平城京の都市計画において、都の東端（外京の北側）という象徴的な位置に、当時の国家予算を投じて巨大な仏像（大仏）を本尊とする寺院が建立されました。この寺院の名称とその建立を命じた天皇の組み合わせとして正しいものはどれですか。 （2016年 長崎県公立入試 類似）			
	1. 寺院：延暦寺、天皇：桓武天皇	2. 寺院：東大寺、天皇：聖武天皇	3. 寺院：崇福寺、天皇：天智天皇	4. 寺院：興福寺、天皇：元明天皇

答え合わせ・解説

問1	答え 2 聖武天皇の遺品を中心に、遣唐使が持ち帰った唐や西アジアの文物が納められ、厳重に管理されてきたため。	正倉院は、聖武天皇の没後に光明皇后が天皇ゆかりの品々を東大寺に献納したことに始まります。宝物には唐の文化だけでなく、シルクロードを介してもたらされたペルシャやインドの影響を受けたものが多く含まれており、天平文化の国際性を証明する歴史的資料となっています。木材を組み上げた校倉造の構造が湿度の調節に役立ったことも、保存状態が良かった一因とされています。
問2	答え 2 風土記	和銅6年（713年）に編纂が命じられた書物です。地方の自然、産物、伝承を公的に記録することで、中央政府が全国の状況を把握しようとする目的がありました。現存するものとしては『出雲国風土記』などが有名です。
問3	答え 1 東大寺正倉院	聖武天皇が亡くなった後、光明皇后が天皇ゆかりの品々を東大寺の大仏に献納したことが始まりです。ここには唐の品物だけでなく、シルクロードを経由して西アジアや中央アジアから伝わった工芸品なども収められており、当時の天平文化がいかに国際的であったかを物語っています。
問4	答え 3 中央の太政官と八省が政治を司り、地方の国々には中央から国司が派遣されて統治を行う仕組み。	律令国家では、中央に最高行政機関である太政官とその下の八省が置かれ、全国を「国」などの行政区分に分けました。中央から派遣された国司は、地方の行政・司法・軍事を担い、画一的な法の下で全国的な統治を目指しました。守護や地頭は鎌倉時代以降の制度であるため、奈良時代の説明としては不適切です。
問5	答え 2 感染症の蔓延や貴族の反乱による社会の動揺を、仏教の教えに基づいた国家的な祈りによって鎮め、国を安定させるため。	聖武天皇の治世では、天然痘の流行による人口減少や、藤原広嗣の乱といった政治的混乱が相次ぎました。天皇はこうした災厄を仏教の加護によって取り除こうと考え、鎮護国家の思想の下で大規模な仏教施設の整備を行いました。檀家制度は江戸時代、浄土信仰の普及は平安時代末期以降の動きであるため、奈良時代の背景としては不適切です。
問6	答え 1 ローマ帝国やペルシャなどの西方でつくられた工芸品や文化が、中国を経て日本へ伝わる経路となった	シルクロードはユーラシア大陸の東西を結ぶ壮大な交易路であり、西方のローマ帝国やペルシャなどで作られたガラス製品などの高度な工芸品や、それらに付随する文化が東方の中国へと伝わりました。さらに、それらは朝鮮半島や海を越えて日本にもたらされ、奈良の正倉院や福岡県の遺跡から発見されるなど、日本の古代文化形成に大きな影響を与えました。
問7	答え 1 調	律令体制下における主要な税の一つで、地方の特産物を都に納める制度です。平城京の遺跡から発見された木簡（荷札）には、塩などがこの税として運ばれた記録が残っています。土地に対して課される「租」とは異なり、成人男性（正丁など）の個人に対して課されました。
問8	答え 3 風土記	713年に元明天皇が命じて作らせた、地方の地理や伝承をまとめた書物です。現存するものは少ないものの、出雲（島根県）などはほぼ完全な形で残っており、当時の地方文化や人々の暮らし、地名の由来などを伝える貴重な史料となっています。
問9	答え 1 五畿七道の北陸道に属する令制国として、島全体が「佐渡国」と定められた。	佐渡国は古代の律令制下において、島全体が独立した「国」として扱われました。地理的には日本海沿岸の国々を結ぶ北陸道のルート上にあり、現在の新潟県にあたります。他の選択肢について、隠岐は山陰道、対馬などは西海道、信濃や上野は東山道に属しており、地理的・行政的な区分が異なります。
問10	答え 3 疫病や政情不安が続く中、仏教の力で人々の心を安定させ国家を維持しようとしたため	奈良時代中頃、藤原広嗣の乱などの政情不安や、天然痘の爆発的な流行による甚大な被害が発生しました。聖武天皇は、武力や法制度だけでは解決できないこれらの社会混乱に対し、仏教という宗教的な権威を用いることで、国家の平穏を取り戻そうと試みました。この目的のために巨額の財政を投じて大仏や国分寺が造営され、結果として仏教中心の華やかな天平文化が発展することとなりました。
問11	答え 2 都での労役の代わりに布を納める庸や、地方の特産物を納める調の負担が、主に成人男性に課されていたため。	律令制下の税制において、布を納める「庸」や特産物を納める「調」、さらには兵役などは、主に成人男性（正丁など）に対して重く課されていました。一方で「租」は男女ともに課されましたが、負担は比較的に軽いものでした。そのため、人々は重い税負担や兵役から逃れるために、男子を女子と偽って戸籍に登録する「偽籍（ぎせき）」を行いました。その結果、資料のように女子の数が極端に多い記録が残ることとなりました。
問12	答え 2 寺院：東大寺、天皇：聖武天皇	平城京の東端に位置する広大な敷地には、聖武天皇の命により東大寺が建立されました。ここは「外京」と呼ばれる平城京の東側に張り出した区画の北側に位置しています。聖武天皇は、仏教によって国家を安定させるという強い信念のもと、全国の寺院の中心としてこの東大寺と大仏を造営しました。

- 問1 東大寺の正倉院には、聖武天皇ゆかりの品々のほか、西アジアやインドを起源とする文様が施された楽器や宝物が数多く納められています。このように、当時の日本に国際色豊かな文化がもたらされた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|--|
| 1. 遣唐使によって、大陸の広大な交易網を通じて集まった品々や文化が流入したため | 2. 平清盛が日宋貿易を推進し、宋の貨幣や香料とともに異国の文化が伝わったため | 3. 遣隋使によって、聖徳太子が大陸の進んだ仏教工芸品を大量に輸入したため | 4. 足利義満が勘合貿易を行い、明から禅宗の影響を受けた宝物を持ち帰ったため |
|--|---|---------------------------------------|--|
- 問2 7世紀後半、日本（倭）が白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗北した後、大陸からの侵攻を警戒して九州北部の防衛を強化するために配置された兵士を何と呼びますか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| 1. 屯田兵 | 2. 健児 | 3. 防人 | 4. 足軽 |
|--------|-------|-------|-------|
- 問3 万葉集の編纂に深く関わったとされる人物は誰ですか。この人物自身の歌も多く収録されており、また和歌集全体としては、柿本人麻呂が現在の香川県坂出市に立ち寄って詠んだ歌など、全国各地を舞台とした作品が収められています。 (2020年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|--------|
| 1. 大伴家持 | 2. 藤原定家 | 3. 山上憶良 | 4. 紀貫之 |
|---------|---------|---------|--------|
- 問4 聖武天皇が「鎮護国家」の思想を実現するために全国で実施した、具体的な政策の内容として正しいものはどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|--|--------------------------------------|--|
| 1. 唐から鑑真を招き、すべての村々に仏教を布教するための道場を整備した | 2. 国ごとに国分寺・国分尼寺を建立し、都には大仏を本尊とする東大寺を建てた | 3. 有力な貴族に命じて一族のための氏寺を建立させ、私的な祈禱を奨励した | 4. 郡ごとに一つずつ寺院と役所を一体化した施設を建て、戸籍の管理を行わせた |
|--------------------------------------|--|--------------------------------------|--|
- 問5 奈良時代の律令制度において、男性の農民に課せられた負担のうち、都での労働（歳役）の代わりに、都へ布を納める義務を何と呼びますか。 (2016年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|------|------|
| 1. 庸 | 2. 兵役 | 3. 租 | 4. 調 |
|------|-------|------|------|
- 問6 奈良時代の聖武天皇が進めた寺院建立の仕組みについて、都と地方の関係性を正しく説明しているものはどれですか。 (2021年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 都に建立された東大寺を総本山とし、全国の各地方に配置された国分寺・国分尼寺をネットワーク化した。 | 2. 遣隋使や遣唐使として派遣された僧侶たちが、帰国後に自らの出身地に独自の国分寺を建立した。 | 3. 各地の有力な豪族が私的に建てた寺院を、聖武天皇がすべて国分寺として公認する制度を整えた。 | 4. 地方の国ごとに守護を配置し、その守護が中心となって都の東大寺を上回る規模の寺院を各地に建てた。 |
|---|---|---|--|
- 問7 正倉院に伝わる「鳥毛立女屏風」には樹木の下で唐風の衣装をまとった女性が描かれています。このような国際色豊かな文化が栄えた時代において、その時代（天平文化）の特徴を正しく説明している仏教彫刻はどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 国家を守るという目的のために、力強く写実的な技法で造られた天平様式の仏像 | 2. 平安時代に藤原氏の権力を背景として、平等院鳳凰堂に安置された定朝作の阿弥陀如来像 | 3. 京都の仏隆寺に安置されている、飛鳥時代の渡来人による技術の影響が見られる弥勒菩薩像 | 4. 飛鳥地方を中心に建立された寺院に見られる、北魏様式などの特徴を持つ日本最古の仏像 |
|---|---|--|---|
- 問8 奈良時代の班田収授法における、口分田の配分や管理の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 口分田は一度与えられると、本人が死亡した後も子孫が代々受け継いで耕作することができた。 | 2. 税の負担を公平にするため、身分に関わらずすべての国民に全く同じ面積の土地が与えられた。 | 3. 土地の不足を解消するため、新しく開墾した土地であれば、返還せずに永久に私有することが認められた。 | 4. 戸籍に登録された6歳以上の男女すべてに与えられ、その面積は性別や身分によって違いがあった。 |
|--|--|---|--|
- 問9 奈良時代に、中国の王朝にならって貨幣が鑄造された背景や、当時の経済状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 律令国家としての体制を整えるため、唐の制度を参考に貨幣を鑄造し、平城京に市を設けて流通を図った。 | 2. 武家政権の経済基盤を固めるため、唐から伝わった技術を用いて、金・銀・銭の三貨制度を平城京で確立した。 | 3. 宋との貿易を拡大させるため、平城京の市で使う共通通貨として、大量の銅銭を中国から輸入した。 | 4. 日本独自の商業文化を発展させるため、平城京で楽市・楽座を行い、唐の貨幣を禁止して国産貨幣を流通させた。 |
|---|---|--|--|
- 問10 奈良時代、聖武天皇の時代を中心に栄えた天平文化の特徴を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 遣唐使によってもたらされた唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。 | 2. 幕府の保護を受けた禅宗の影響により、簡素で気品のある東山文化が栄えた。 | 3. 国風文化が発達し、仮名文字を用いた文学や、日本的な風景を描く大和絵が生まれた。 | 4. 武士の気風を反映した力強い文化で、運慶による写実的な彫刻が制作された。 |
|--|--|--|--|
- 問11 710年に現在の奈良市にあたる場所に造営され、唐の都である長安をモデルとして碁盤の目状に区画された都の名称を選びなさい。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 長岡京 | 2. 平城京 | 3. 藤原京 | 4. 平安京 |
|--------|--------|--------|--------|
- 問12 当時の土地制度の変遷を記した記録において、口分田の不足を背景として墾田永年私財法が制定された目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 全国の土地の広さと収穫量を調査し、耕作者を確定させることで年貢を確実に徴収する仕組みを整えるため。 | 2. 土地の私有を禁じる公地公民の原則をさらに強化し、すべての土地を再び天皇のものに統合し直すため。 | 3. 自力で開墾した土地の永代私有を認めることで、農民や貴族に土地を広げる意欲を持たせ、耕地を増やすため。 | 4. 三代にわたって開墾地の使用を認めていた従来の制限を撤廃し、土地をすべて国に返還させるため。 |
|--|--|---|--|
- 問13 大化の改新以降の律令国家において、班田収授法により与えられた口分田の面積に応じて課された税のうち、収穫した稲の約3パーセントを納めることとされたものを何と呼びますか。 (2021年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|-------|------|------|
| 1. 調 | 2. 雑徭 | 3. 庸 | 4. 租 |
|------|-------|------|------|
- 問14 古代の律令国家において、安定した税収を確保するために「班田収授法」が実施されました。この制度において、6歳以上の男女に与えられた「口分田」での収穫量に対し、約3パーセントを納める義務があった税の名称を選びなさい。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|------|------|------|-------|
| 1. 調 | 2. 租 | 3. 庸 | 4. 雑徭 |
|------|------|------|-------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 遣唐使によって、大陸の広大な交易網を通じて集まった品々や文化が流入したため	正倉院の宝庫に納められた国際的な宝物は、当時の中国の王朝である唐との交流、すなわち遣唐使の派遣によってもたらされました。当時の唐はシルクロードを通じた東西交流の拠点であったため、日本にもペルシア（現在のイラン付近）やインドなどの文化が、唐を経由して流入しました。聖武天皇は、仏教の力で国を治める「鎮護国家」の思想のもと、こうした大陸の制度や文化を積極的に取り入れ、国家の安定を図りました。
問2	答え 3 防人	663年の白村江の戦いで敗れた倭は、唐や新羅による報復や日本への侵攻を恐れ、大宰府などがある九州北部の沿岸部を防衛する必要に迫られました。そのため、水城や大野城を築くとともに、沿岸を警備する「防人」を配置して国防を強化しました。
問3	答え 1 大伴家持	万葉集は長い年月をかけて歌が収集されましたが、最終的なまとめ役として大伴家持が重要な役割を果たしたと考えられています。柿本人麻呂などの宮廷歌人から地方の歌まで幅広く収録されている点が、後の時代の天皇の命令によって編纂された「勅撰和歌集」とは異なる大きな特色です。選択肢の紀貫之は平安時代の『古今和歌集』、藤原定家は鎌倉時代の『新古今和歌集』の編纂者として知られています。
問4	答え 2 国ごとに国分寺・国分尼寺を建立し、都には大仏を本尊とする東大寺を建てた	聖武天皇は741年に「国分寺建立の詔」を出し、地方の各「国」に国分寺・国分尼寺を整備させました。また、743年には「大仏造立の詔」を出し、仏教による国家鎮護の中心的な拠点として、都に東大寺と巨大な大仏を造営しました。これらは地方の役所としての機能を持つものではなく、あくまで宗教的な力で国家を安泰に導くための施設でした。
問5	答え 1 庸	「庸」は、年間10日間の都での労働（歳役）の代わりとして、布（庸布）を納める税のことです。これに対し、収穫した米を納めるのが「租」、各地の特産物を納めるのが「調」です。調や庸は、農民が自ら都まで運ぶ必要があり、その道中の食糧も自己負担であったため、農民にとって非常に過酷な負担となっていました。また、これらとは別に、防人や軍団として仕える「兵役」の義務もありました。
問6	答え 1 都に建立された東大寺を総本山とし、全国の各地方に配置された国分寺・国分尼寺をネットワーク化した。	聖武天皇は中央集権的な国家体制を強化するため、宗教面でも都を頂点とする組織作りを行いました。都の東大寺を中心（総本山）とし、地方の各国に配置された国分寺・国分尼寺がそれに連なる仕組みを整えることで、仏教を通じた国家の統一と安定を図りました。これは、当時の律令国家としての地方統治の仕組みとも深く関わっています。
問7	答え 1 国家を守るという目的のために、力強く写実的な技法で造られた天平様式の仏像	奈良時代の天平文化は、唐の文化や仏教の影響を強く受けた国際色豊かな文化です。この時代の仏像は、鎮護国家の思想に基づき、国家の安泰を願って造られました。広隆寺の弥勒菩薩や飛鳥地方の仏像はそれ以前の飛鳥時代の文化、平等院の阿弥陀如来像は後の平安時代（国風文化）の仏像であり、制作された背景や目的が異なります。
問8	答え 4 戸籍に登録された6歳以上の男女すべてに与えられ、その面積は性別や身分によって違いがあった。	口分田は6歳以上の男女に与えられましたが、例えば良民の男性は女性の1.5倍の面積を受け取るなど、性別や社会的な地位によって配分される広さが異なっていました。開墾した土地の私有化は、のちの「三世一身の法」や「墾田永年私財法」によって認められるようになりますが、口分田そのものは原則として一代限りの貸与であり、死後は国に返す必要がありました。
問9	答え 1 律令国家としての体制を整えるため、唐の制度を参考に貨幣を鑄造し、平城京に市を設けて流通を図った。	当時の政府は、唐の律令制にならって中央集権的な国家づくりを進めていました。貨幣の鑄造はその一環であり、国家の威信を示すとともに、平城京内の東の市・西の市などで貨幣を使わせることで、国家が経済活動を管理・把握する狙いがありました。
問10	答え 1 遣唐使によってもたらされた唐の文化の影響を強く受け、国際色豊かな特色を持っている。	天平文化は、当時の中国である唐との活発な交流により、その先進的な文化や制度を積極的に取り入れました。唐にはさらに西方の文化も流入していたため、日本の天平文化も西アジアやインドなどの影響を含んだ国際色豊かなものとなりました。
問11	答え 2 平城京	元明天皇の時代に唐の長安にならって建設された都で、ここを中心に律令国家の政治が行われた。
問12	答え 3 自力で開墾した土地の永代私有を認めることで、農民や貴族に土地を広げる意欲を持たせ、耕地を増やすため。	律令制のもとでは「班田収授法」によって土地が配分されていましたが、人口増加による土地不足が深刻化しました。723年の「三世一身の法」では三代までの期限付きで私有を認めましたが、期限が近づく土地が荒廃する問題が起きたため、743年のこの法で永代私有を認め、継続的な開墾を促しました。これが貴族や寺社による大規模な土地所有（初期荘園）を招く原因となりました。
問13	答え 4 租	律令制度における税制の基本は、戸籍に基づいて人々に口分田を貸し与える代わりに、税を徴収する仕組みでした。このうち、収穫した稲の一部を納めるものは「租」と呼ばれます。租として納められた稲は、地方の役所である国衙（こくが）などの倉庫に蓄えられ、主に地方政治の財源として利用されました。
問14	答え 2 租	律令制度下の税制において、土地の面積に応じて課せられた税が「租」です。農民は国から与えられた口分田の収穫から一定割合の稲を納め、これらは地方の財源として保管されました。これに対し、都での労働の代わりに布を納める「庸」や、地方の特産物を納める「調」は、土地ではなく人身（正丁など）に対して課された税です。